

## 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル) 申請様式

① 学校名	大和大学				
② 大学等の設置者	学校法人西大和学園	③ 設置形態	私立大学		
④ 所在地	大阪府吹田市片山町2丁目5-1				
⑤ 申請するプログラム名称	数理・AI・データサイエンス教育プログラム				
⑥ プログラムの開設年度	令和3	年度	⑦ 応用基礎レベルの申請の有無		
			無		
⑧ 教員数	(常勤)	148	人		
	(非常勤)	8	人		
⑨ プログラムの授業を教えている教員数		14	人		
⑩ 全学部・学科の入学定員	960		人		
⑪ 全学部・学科の学生数(学年別)		総数	3,051		
			人		
1年次	1,007	人	2年次	863	人
3年次	600	人	4年次	581	人
5年次	0	人	6年次	0	人
⑫ プログラムの運営責任者					
(責任者名)	今村 浩章	(役職名)	教育学部長		
⑬ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)	大和大学情報教育委員会				
(責任者名)	今村 浩章	(役職名)	教育学部長		
⑭ プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)	大和大学情報教育委員会				
(責任者名)	今村 浩章	(役職名)	教育学部長		
⑮ 申請する認定プログラム	認定教育プログラム				

## 連絡先

所属部署名	理工学部	担当者名	鴻上 啓次朗
E-mail	ai_ds@yamato-u.ac.jp	電話番号	06-6155-8050

プログラムを構成する授業科目について

①具体的な修了要件

②教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違する

教育学部・保健医療学部では、「情報処理」2単位と「AIデータサイエンス入門」2単位を取得すること。

③現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	1-1	1-6	授業科目	単位数	必修	開講状況	1-1	1-6
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						

④「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	1-2	1-3	授業科目	単位数	必修	開講状況	1-2	1-3
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						

⑤「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	1-4	1-5	授業科目	単位数	必修	開講状況	1-4	1-5
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						
情報処理	2	○	一部開講	○							

⑥「活用に当たっての様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等）を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	3-1	3-2	授業科目	単位数	必修	開講状況	3-1	3-2
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						
情報処理	2	○	一部開講	○	○						

⑦「実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必修	開講状況	2-1	2-2	2-3
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○	○							
情報処理	2	○	一部開講	○	○	○							

⑧選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
AIデータサイエンス入門	4-1統計および数理基礎		

⑨プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	オリエンテーション「AIデータサイエンス入門」(第1回)
	1-6	事例紹介「AIデータサイエンス入門」(第1回) ディープラーニングの事例1~3「AIデータサイエンス入門」(第12~14回)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	テキストマイニングの体験「AIデータサイエンス入門」(第5・6回) アンケート結果の分析「AIデータサイエンス入門」(第7回) ビッグデータ収集のやり方「AIデータサイエンス入門」(第9回)
	1-3	データマイニングとテキストマイニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第2回) ディープラーニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第11回)

(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	データマイニングとテキストマイニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第2回) ディープラーニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第11回) Excelによる統計分析「情報処理」(第10回) Excelによるモデル化とシミュレーション「情報処理」(第11回)
	1-5	実データの収集: アンケートの設計と実施「AIデータサイエンス入門」(第6回) アンケート結果の分析「AIデータサイエンス入門」(第7回)
(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	ビッグデータの活用方法とデータの取扱いの留意事項「AIデータサイエンス入門」(第10回) まとめと総合演習「AIデータサイエンス入門」(第15回) 情報倫理「情報処理」(第1回)
	3-2	ビッグデータの活用方法とデータの取扱いの留意事項「AIデータサイエンス入門」(第10回) まとめと総合演習「AIデータサイエンス入門」(第15回) 情報倫理「情報処理」(第1回)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	アンケート結果の分析「AIデータサイエンス入門」(第7回) Excelによるグラフの作成「情報処理」(第8回)
	2-2	データを説明する: 相関と回帰「AIデータサイエンス入門」(第4回) Excelによるグラフの作成「情報処理」(第8回)
	2-3	データを扱う: 基本統計量とは「AIデータサイエンス入門」(第3回) Excelによるグラフの作成「情報処理」(第8回)

⑩プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

データを扱う基本統計量、データを説明する回帰や相関関係などの内容を通してデータリテラシーを修得する。  
データの活用時に倫理・法律・社会的な留意事項や情報セキュリティ等を考慮する重要性を理解する。  
様々な活用事例を用い、AIを利活用するための素養を身につける。

⑪プログラムの授業内容等を公表しているアドレス

[https://www.yamato-u.ac.jp/research/educational\\_features/mathematics\\_ai\\_data/](https://www.yamato-u.ac.jp/research/educational_features/mathematics_ai_data/)

プログラムを構成する授業科目について

①具体的な修了要件

②教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違する

政治経済学部では、「情報処理 I」1単位と「AIデータサイエンス入門」2単位を取得すること。

③現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	1-1	1-6	授業科目	単位数	必修	開講状況	1-1	1-6
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						

④「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	1-2	1-3	授業科目	単位数	必修	開講状況	1-2	1-3
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						

⑤「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	1-4	1-5	授業科目	単位数	必修	開講状況	1-4	1-5
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						
情報処理 I	1	○	一部開講	○							

⑥「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	3-1	3-2	授業科目	単位数	必修	開講状況	3-1	3-2
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						
情報処理 I	1	○	一部開講	○	○						

⑦「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必修	開講状況	2-1	2-2	2-3
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○	○							
情報処理 I	1	○	一部開講	○	○	○							

⑧選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
AIデータサイエンス入門	4-1統計および数理基礎		

⑨プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	オリエンテーション「AIデータサイエンス入門」(第1回)
	1-6	事例紹介「AIデータサイエンス入門」(第1回) ディープラーニングの事例1~3「AIデータサイエンス入門」(第12~14回)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	テキストマイニングの体験「AIデータサイエンス入門」(第5・6回) アンケート結果の分析「AIデータサイエンス入門」(第7回) ビッグデータ収集のやり方「AIデータサイエンス入門」(第9回)
	1-3	データマイニングとテキストマイニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第2回) ディープラーニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第11回)

(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	データマイニングとテキストマイニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第2回) ディープラーニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第11回) Excelによるデータ分析「情報処理 I」(第12回)
	1-5	実データの収集: アンケートの設計と実施「AIデータサイエンス入門」(第6回) アンケート結果の分析「AIデータサイエンス入門」(第7回)
(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	ビッグデータの活用方法とデータの取扱いの留意事項「AIデータサイエンス入門」(第10回) まとめと総合演習「AIデータサイエンス入門」(第15回) ガイダンス「情報処理 I」(第1回)
	3-2	ビッグデータの活用方法とデータの取扱いの留意事項「AIデータサイエンス入門」(第10回) まとめと総合演習「AIデータサイエンス入門」(第15回) ガイダンス「情報処理 I」(第1回)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	アンケート結果の分析「AIデータサイエンス入門」(第7回) Excelによるグラフの作成「情報処理 I」(第9回)
	2-2	データを説明する: 相関と回帰「AIデータサイエンス入門」(第4回) Excelによるグラフの作成「情報処理 I」(第9回)
	2-3	データを扱う: 基本統計量とは「AIデータサイエンス入門」(第3回) Excelによるデータのまとめ方「情報処理 I」(第7・8回)

⑩プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

データを扱う基本統計量、データを説明する回帰や相関関係などの内容を通してデータリテラシーを修得する。  
データの活用時に倫理・法律・社会的な留意事項や情報セキュリティ等を考慮する重要性を理解する。  
様々な活用事例を用い、AIを利活用するための素養を身につける。

⑪プログラムの授業内容等を公表しているアドレス

[https://www.yamato-u.ac.jp/research/educational\\_features/mathematics\\_ai\\_data/](https://www.yamato-u.ac.jp/research/educational_features/mathematics_ai_data/)

プログラムを構成する授業科目について

①具体的な修了要件

②教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違する

理工学部では、「情報処理入門」2単位と「AIデータサイエンス入門」2単位を取得すること。

③現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	1-1	1-6	授業科目	単位数	必修	開講状況	1-1	1-6
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						

④「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	1-2	1-3	授業科目	単位数	必修	開講状況	1-2	1-3
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						

⑤「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	1-4	1-5	授業科目	単位数	必修	開講状況	1-4	1-5
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						
情報処理入門	2	○	一部開講	○							

⑥「活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	3-1	3-2	授業科目	単位数	必修	開講状況	3-1	3-2
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						
情報処理入門	2	○	一部開講	○	○						

⑦「実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必修	開講状況	2-1	2-2	2-3
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○	○							
情報処理入門	2	○	一部開講	○	○	○							

⑧選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
AIデータサイエンス入門	4-1統計および数理基礎		

⑨プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	オリエンテーション「AIデータサイエンス入門」(第1回)
	1-6	事例紹介「AIデータサイエンス入門」(第1回) ディープラーニングの事例1~3「AIデータサイエンス入門」(第12~14回)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	テキストマイニングの体験「AIデータサイエンス入門」(第5・6回) アンケート結果の分析「AIデータサイエンス入門」(第7回) ビッグデータ収集のやり方「AIデータサイエンス入門」(第9回)
	1-3	データマイニングとテキストマイニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第2回) ディープラーニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第11回)

(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	データマイニングとテキストマイニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第2回) ディープラーニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第11回) Microsoft Excel利用方法・演習「情報処理入門」(第9～11回)
	1-5	実データの収集: アンケートの設計と実施「AIデータサイエンス入門」(第6回) アンケート結果の分析「AIデータサイエンス入門」(第7回)
(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	ビッグデータの活用方法とデータの取扱いの留意事項「AIデータサイエンス入門」(第10回) まとめと総合演習「AIデータサイエンス入門」(第15回) 講義ガイダンス「情報処理入門」(第1回)
	3-2	ビッグデータの活用方法とデータの取扱いの留意事項「AIデータサイエンス入門」(第10回) まとめと総合演習「AIデータサイエンス入門」(第15回) 講義ガイダンス「情報処理入門」(第1回)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	アンケート結果の分析「AIデータサイエンス入門」(第7回) Microsoft Excel利用方法・演習「情報処理入門」(第9～11回)
	2-2	データを説明する: 相関と回帰「AIデータサイエンス入門」(第4回) Microsoft Excel利用方法・演習「情報処理入門」(第9～11回)
	2-3	データを扱う: 基本統計量とは「AIデータサイエンス入門」(第3回) Microsoft Excel利用方法・演習「情報処理入門」(第9～11回)

⑩プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

データを扱う基本統計量、データを説明する回帰や相関関係などの内容を通してデータリテラシーを修得する。  
データの活用時に倫理・法律・社会的な留意事項や情報セキュリティ等を考慮する重要性を理解する。  
様々な活用事例を用い、AIを利活用するための素養を身につける。

⑪プログラムの授業内容等を公表しているアドレス

[https://www.yamato-u.ac.jp/research/educational\\_features/mathematics\\_ai\\_data/](https://www.yamato-u.ac.jp/research/educational_features/mathematics_ai_data/)

プログラムを構成する授業科目について

①具体的な修了要件

②教育プログラムの修了要件

学部・学科によって、修了要件は相違する

社会学部では、「コンピュータ入門」2単位と「AIデータサイエンス入門」2単位を取得すること。

③現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	1-1	1-6	授業科目	単位数	必修	開講状況	1-1	1-6
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						

④「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	1-2	1-3	授業科目	単位数	必修	開講状況	1-2	1-3
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						

⑤「様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	1-4	1-5	授業科目	単位数	必修	開講状況	1-4	1-5
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						
コンピュータ入門	2	○	一部開講	○							

⑥「活用に当たっての様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等）を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	3-1	3-2	授業科目	単位数	必修	開講状況	3-1	3-2
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○						
コンピュータ入門	2	○	一部開講	○	○						

⑦「実データ・実課題（学術データ等を含む）を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必修	開講状況	2-1	2-2	2-3	授業科目	単位数	必修	開講状況	2-1	2-2	2-3
AIデータサイエンス入門	2	○	全学開講	○	○	○							
コンピュータ入門	2	○	一部開講	○	○	○							

⑧選択「4. オプション」の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目
AIデータサイエンス入門	4-1統計および数理基礎		

⑨プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素		講義内容
(1)現在進行中の社会変化(第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついている	1-1	オリエンテーション「AIデータサイエンス入門」(第1回)
	1-6	事例紹介「AIデータサイエンス入門」(第1回) ディープラーニングの事例1~3「AIデータサイエンス入門」(第12~14回)
(2)「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るもの	1-2	テキストマイニングの体験「AIデータサイエンス入門」(第5・6回) アンケート結果の分析「AIデータサイエンス入門」(第7回) ビッグデータ収集のやり方「AIデータサイエンス入門」(第9回)
	1-3	データマイニングとテキストマイニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第2回) ディープラーニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第11回)

(3) 様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用事例が示され、様々な適用領域(流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等)の知見と組み合わせることで価値を創出するもの	1-4	データマイニングとテキストマイニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第2回) ディープラーニングの紹介「AIデータサイエンス入門」(第11回) Excel活用・グラフ・データベース「コンピュータ入門」(第10・11回)
	1-5	実データの収集: アンケートの設計と実施「AIデータサイエンス入門」(第6回) アンケート結果の分析「AIデータサイエンス入門」(第7回)
(4) 活用に当たっての様々な留意事項(ELSI、個人情報、データ倫理、AI社会原則等)を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解をする	3-1	ビッグデータの活用方法とデータの取扱いの留意事項「AIデータサイエンス入門」(第10回) まとめと総合演習「AIデータサイエンス入門」(第15回) 情報倫理「コンピュータ入門」(第1・2回)
	3-2	ビッグデータの活用方法とデータの取扱いの留意事項「AIデータサイエンス入門」(第10回) まとめと総合演習「AIデータサイエンス入門」(第15回) 情報倫理「コンピュータ入門」(第1・2回)
(5) 実データ・実課題(学術データ等を含む)を用いた演習など、社会での実例を題材として、「データを読む、説明する、扱う」といった数理・データサイエンス・AIの基本的な活用法に関するもの	2-1	アンケート結果の分析「AIデータサイエンス入門」(第7回) Excel入門、実践、活用「コンピュータ入門」(第7～11回)
	2-2	データを説明する: 相関と回帰「AIデータサイエンス入門」(第4回) Excel入門、実践、活用「コンピュータ入門」(第7～11回)
	2-3	データを扱う: 基本統計量とは「AIデータサイエンス入門」(第3回) Excel入門、実践、活用「コンピュータ入門」(第7～11回)

⑩プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

データを扱う基本統計量、データを説明する回帰や相関関係などの内容を通してデータリテラシーを修得する。  
データの活用時に倫理・法律・社会的な留意事項や情報セキュリティ等を考慮する重要性を理解する。  
様々な活用事例を用い、AIを利活用するための素養を身につける。

⑪プログラムの授業内容等を公表しているアドレス

[https://www.yamato-u.ac.jp/research/educational\\_features/mathematics\\_ai\\_data/](https://www.yamato-u.ac.jp/research/educational_features/mathematics_ai_data/)

プログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度

令和3

年度

②履修者・修了者の実績

学部・学科名称	入学定員	収容定員	令和3年度		令和2年度		令和元年度		平成30年度		平成29年度		平成28年度		履修者数合計	履修率
			履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数	履修者数	修了者数		
教育学部	190	770	12	8											12	2%
保健医療学部	220	880	6	6											6	1%
政治経済学部	120	480	1	1											1	0%
理工学部	230	920	8	5											8	1%
社会学部	200	800	1	1											1	0%
																#DIV/0!
																#DIV/0!
																#DIV/0!
																#DIV/0!
																#DIV/0!
																#DIV/0!
																#DIV/0!
																#DIV/0!
																#DIV/0!
																#DIV/0!
																#DIV/0!
																#DIV/0!
																#DIV/0!
																#DIV/0!
合計	960	3850	28	21											28	1%

## 教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

## ① プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

大和大学情報教育委員会規程

## ② 体制の目的

本委員会は、情報教育の今後の展開に向けて情報教育全般に関わる議論を行ってきた。数理・AI・データサイエンス教育プログラムの設置、普及、改善等についても、これまでの本学独自の情報教育内容からの円滑な移行、新展開を考え、本委員会において議論することが適切であると判断した。令和3年度は、数理・AI・データサイエンス教育プログラムの設置検討、関連科目の整備、全学的な普及を行うとともに、令和4年度以降に向けた改善等の議論も継続的に行っている。

## ③ 具体的な構成員

委員長 今村 浩章(教育学部長)  
 副委員長 上村 佳永(理工学部長)  
 副委員長 鴻上 啓次朗(理工学部長補佐)  
 委員 松本 啓之亮(理工学部情報科学専攻 教授)  
 委員 北村 章(理工学部情報科学専攻 教授)  
 委員 谷川 明夫(理工学部情報科学専攻 教授)  
 委員 高田 司郎(理工学部情報科学専攻 教授)  
 委員 宮下 鋭也(理工学部数理科学専攻 准教授)  
 委員 及川 久遠(教育学部 教授)  
 委員 光永 文彦(教育学部 准教授)  
 委員 立花 晃(社会学部 准教授)  
 委員 阿部 哲也(理工学部 技術職員)

## ④ 履修者数・履修率の向上に向けた計画

令和3年度実績	1%	令和4年度予定	4%	令和5年度予定	29%
令和6年度予定	54%	令和7年度予定	79%	収容定員(名)	3,850

## 具体的な計画

各年度の履修者数の目標を以下のとおりとする。(( )内は履修率。)

令和4年度 168名 (4%)  
 令和5年度 1128名 (29%)  
 令和6年度 2088名 (54%)  
 令和7年度 3025名 (79%)  
 令和8年度 3850名 (100%)

令和5年度より、「AIデータサイエンス入門」を全学で必修化し、「情報処理」の関連科目と併せて数理・AI・データサイエンス教育に必要な内容を全て学べるようにする。また、授業時間内外での学習指導、質問を受け付ける仕組みや教育上の工夫、学生指導・支援等の学修サポート等について、情報教育委員会でもより適切なものとなるよう、継続的に検討していく計画である。

⑤ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

令和5年度より「AIデータサイエンス入門」を全学で必修化し、「情報処理」関連科目と併せて本教育プログラムを実施することにした。学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講できる体制として、指導者の追加配置及びオンデマンド授業の実施などの指導体制を構築していく計画である。

⑥ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

既に必修である「情報処理」関連の科目と併せて、令和5年度より「AIデータサイエンス入門」を必修化する。また、全員に入学後のガイダンス等で本教育プログラムの意義・魅力を周知する。さらに、本学のWebサイト内に数理・AI・データサイエンス教育プログラムのページを設置して情報を掲載し、学生が情報を受け取りやすい環境を整備している。

⑦ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

多くの学生が本教育プログラムを円滑に修得できるよう、科目ごとのGoogle Classroomを作成し、随時担当教員に質問できる体制を構築するとともに、授業を録画したオンデマンド教材を提示するなど、学びを促すための取り組みを行う。

⑧ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

本教育プログラムの科目は、すべてGoogle Classroomに登録されており、その投稿やチャットなどの機能を用いて、授業時間内外で質問ができるようになっている。担当教員はそれに返信する形でいつでも学習指導をすることができる。また、担当教員が指導に困った際には、必要に応じて情報教育委員会の委員を経由して他の教員が返答する体制も整備している。

## 自己点検・評価について

## ① 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>大和大学情報教育委員会にて、プログラムの履修・修得状況の報告を定期的に行い、委員会内で学生の出席状況や授業の進行状況を把握している。また、Google Classroomを活用し、受講者毎の課題の提出状況を把握することができる。これらの点検の結果を踏まえ、同委員会にて次期開講の授業実施形態などの改善に結びつけている。</p> <p>「AIデータサイエンス入門」の講義は令和5年度より全学で必修化するため、授業実施形態を見直すとともに、指導者の追加配置、学習環境のオンデマンド化を推進していく。</p>
学修成果	<p>令和3年度に行った授業では、「AIデータサイエンス入門」の成績評価の平均は79点、「情報処理」関連科目の成績評価の平均は88点であり、当初想定していた点数よりも良い結果となった。また、学生による授業評価アンケートでは、「この授業はよく理解できましたか」という問いに対する点数は「AIデータサイエンス入門」で4点満点中2.88点、「情報処理」関連科目で4点満点中3.32点であり、学生は十分な学修成果を得られたものと考えている。</p> <p>情報教育委員会で授業評価アンケートおよび講義の成績に基づいて、受講者の学修成果の状況を判断し、結果の分析を行っている。今後もこの活動を続け、プログラムの継続的改善につなげる方針である。</p>

<p>学生アンケート等を通じた 学生の理解度</p>	<p>学期末の授業評価アンケートのほか、適宜レポート課題または授業アンケートを実施し、受講者の理解度を確 認している。また、この結果に応じて授業内容を随時見直している。LMS上でこれらの情報を管理するととも に、学生の理解度に応じた授業資料や補足資料の提供を行っている。 学期末の授業評価アンケートは、FD委員会で取りまとめ、その結果を各教員にフィードバックする。各教員はそ の結果をもとに授業改善計画を作成することにより、繰り返し授業の改善・向上に努めている。</p>
<p>学生アンケート等を通じた 後輩等他の学生への推奨 度</p>	<p>履修者に対して授業評価アンケートを実施しており、授業全体の満足度、説明のわかりやすさ、教材のわかり やすさ、授業が役に立ったかなどを調査し、その結果を公表することで、後輩等他の学生への推奨度が向上す るよう改善を行っている。分析結果については各教員にフィードバックを行い、次学期以降の授業に活用して いる。</p>
<p>全学的な履修者数、履修 率向上に向けた計画の達 成・進捗状況</p>	<p>既に必修である「情報処理」関連の科目に加えて、令和5年度に「AIデータサイエンス入門」を全学で必修化す る計画である。これを達成するため、学修環境のオンデマンド化、BYOD演習環境等のインフラ整備や、新たな 教員の配置等を実施中である。 学生の興味を引くように、学生が将来使用するような数理・AI・データサイエンスの利活用および学部に応じて 各専門分野に関連した内容の授業を展開する予定である。</p>

学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	同窓会を管轄する振興会という組織を通じて、学部あるいはキャリアセンターが本学の卒業生の進路状況を継続して把握している。本教育プログラムを修了した卒業生はまだいないが、本教育プログラムを修了した卒業生についても卒業後の状況調査や就職先企業・団体への調査を行い、活躍状況や企業評価を把握する計画である。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	IT企業の現役の役員や研究員などを情報教育委員会に外部評価委員として年に2回招聘し本教育プログラムを評価して頂き、その内容をもとに授業内容の見直しを実施する計画である。

<p>数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること</p>	<p>社会の身近なサービスが数理・AI・データサイエンスによって実現されていることを学生に気づかせるとともに、学生の興味関心を引くような授業内容にする工夫をしている。また、授業において各学部の専門領域に関連するデータを題材にしてデータ分析を行うことにより、それぞれの領域にデータサイエンスが深く関わっていることや、卒業後の進路にも役立つものであることを理解させる。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p>	<p>授業評価アンケートおよび課題レポートの内容から受講者の理解度を確認し、FD委員会にて分析を行い、その結果を情報教育委員会にて報告している。更に、情報教育委員会では、報告内容をもとに授業内容の見直しおよび改善を行っている。 今後、学習環境のオンデマンド化を推進していく上で、対面での授業に比べて水準を落とすことのないように授業内容を十分検討するとともに、学生が繰り返し復習することができ、容易に教員に質問することができる環境を構築するべく検討している。</p>

②自己点検・評価体制における意見等を公表しているアドレス

[https://www.yamato-u.ac.jp/research/educational\\_features/mathematics\\_ai\\_data/](https://www.yamato-u.ac.jp/research/educational_features/mathematics_ai_data/)

## シラバス参照



講義名	情報処理（英）
開講責任部署	教育学科
講義区分	演習
配当年次	1年前期
単位数	2単位

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 江間 則之	理工学科 情報科学専攻
講師	福井 裕	理工学科 機械工学専攻

授業の到達目標	情報化社会においては、ネットワークやコンピュータを活用する情報活用能力を身につけることが重要である。本授業では、本学での学習や研究に必要と思われる基礎的かつ実用的なネットワークリテラシーおよび情報リテラシーを身につけることを目指す。また、教育現場で必要となる、情報機器の操作、および情報処理能力の育成をはかる。具体的には、インターネットの利用について理解すること、事務処理ソフトを利用できるようになること、プレゼンテーションの技術を身につけることを到達目標にする。
授業の概要	大学での授業に役立つ情報処理技術として、高等学校 情報科において学習した内容を最初に振り返る。その後、（１）文書処理ソフトウェアによる書類作成、（２）表計算ソフトウェアによる分析、（３）プレゼンテーションソフトウェアによるスライド作成と実演、について習得する。

## 授業計画表

回	内容	予習
第1回	ガイダンス 情報倫理	高等学校 情報科の内容振り返り、教育用システム環境の理解、個人情報取り扱い、セキュリティの理解、著作権の取り扱い
第2回	電子メールとインターネット	電子メールの活用方法、インターネットにおける各種サービスの活用（検索、翻訳、地図情報、チャット、クラウドコンピューティング、ブログ等）
第3回	文書処理ソフトウェアの概念と基本機能	文書作成とページの設定、ファイルの保存と印刷 文書の削除／複写／移動、文書の検索／置換／スペルチェック
第4回	文書処理ソフトウェアによるレイアウト設定	段落の書式設定、ヘッダー／フッター表示 表組みを用いたレイアウト、セルの結合／分割／塗りつぶし
第5回	文書処理ソフトウェアによるビジネス文書の作成	オブジェクトの挿入と編集、グラフ／図形の作成 フォトタッチと写真の挿入、ウィザードによる文書作成
第6回	表計算ソフトウェアを用いた表計算と基本機能	数式の入力と書式設定、セルの複写と移動 相対参照／絶対参照、オートフィル機能
第7回	表計算ソフトウェアにおける関数の取り扱い	関数の挿入、検索と関数の利用 条件判断と関数、日付／時刻／曜日の表示
第8回	表計算ソフトウェアによるグラフの作成	条件付書式による表現、グラフ作成／編集／移動／サイズ変更 関数のグラフ化、立体グラフの回転
第9回	表計算ソフトウェアによるデータベース機能の活用	データの並べ替え、データの抽出 ピボットテーブル機能の利用、アドイン機能の利用
第10回	表計算ソフトウェアによる統計分析	相関分析と回帰分析、各種分布の活用 ヒストグラム(度数分布)の作成、検定と推定

第11回	表計算ソフトウェアによる乱数発生とシミュレーション	乱数発生、モデル化とシミュレーション
第12回	プレゼンテーションソフトウェアの画面構成と基本機能	スライド作成とテンプレート、テキスト編集と文章の取込み 表作成と表の取込み、印刷形式
第13回	プレゼンテーションソフトウェアによるスライドの編集とアニメーション	スライドデザイン、スライドマスターの編集 コンテンツ/グラフ/コンテンツの活用、アニメーションの設定
第14回	プレゼンテーションソフトウェアによる発表スライドの作成	これまで獲得した知識を利用した発表原稿とスライドの作成
第15回	プレゼンテーションの実施	作成した原稿とスライドを利用したプレゼンテーションの実施
ディプロマポリシーとの関係	偏りのない基礎的な教養と、教育の専門職としての高度な知識及び技能を有し、それを活用できること。	
達成度基準等、成績評価方法	毎回の提出課題80%、受講態度20%	
テキスト	実教出版 30時間アカデミック Office2019 Windows 10対応 著：杉本くみ子、大澤栄子 定価：1,430円（本体：1,300円）	
テキストISBN番号	ISBN：978-4-407-34833-0	
参考書・参考資料等	受講者の関心や理解度に合わせて担当教員が適宜紹介する。	
教員の実務経験と授業への活用	高等学校で教鞭をとった経験を生かした講義・支援を行っている。	

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照



講義名	情報処理(看1)
開講責任部署	看護学科
講義区分	演習
配当年次	1年後期
単位数	2単位

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 江間 則之	理工学科 情報科学専攻

授業の到達目標	<p>情報化社会においては、ネットワークやコンピュータを活用する情報活用能力を身につけることが重要である。本授業では、本学での学習や研究に必要と思われる基礎的かつ実用的なネットワークリテラシーおよび情報リテラシーを身につけることを目指す。また、教育現場で必要となる、情報機器の操作、および情報処理能力の育成をはかる。具体的には、文書処理、数値処理、統計処理について理解すること、プレゼンテーションの技術を身につけることを到達目標にする。</p>
授業の概要	<p>大学での授業に役立つ情報処理技術としてOfficeの基本機能、日本語入力の方法、インターネット利用についての予備知識を演習によってまず最初に確認する。その後、(1)ワードによる文書処理、(2)エクセルによる表計算処理、(3)パワーポイントによるアニメーションとプレゼンテーション処理、(4)関数による統計分析処理、(5)プログラミングによる課題処理について習得する。</p>

## 授業計画表

回	内容	予習
第1回	WindowsとOfficeの基本機能	マルチタスクとタスクの切り替え リボンとタブの機能 メニューの使い方 ファイルの概念
第2回	日本語入力とインターネットの利用	かな入力とローマ字入力 入力モードの切り替え I MEパッドの活用 WWWとemailの利用
第3回	Wordをもちいたワープロの概念と基本機能	Wordによる文書作成とページの設定 Wordによるファイルの保存と印刷 Wordによる文書の削除/複写/移動 Wordによる文書の検索/置換/スペルチェック
第4回	Wordによるレイアウト設定	Wordによる段落の書式設定 Wordによるヘッダー/フッター表示 Wordによる表組みを用いたレイアウト Wordによるセルの結合/分割/塗りつぶし
第5回	Wordによるビジネス文書の作成	Wordによるオブジェクトの挿入と編集 Wordによるグラフ/図形の作成 Wordによるフォトレタッチと写真の挿入 ウィザードによる文書作成
第6回	Excelをもちいた表計算と基本機能	Excelによる数式の入力と書式設定 Excelによるセルの複写と移動 Excelによる相対参照/絶対参照 Excelによるオートフィル機能

第7回	Excel関数	Excelによる関数の挿入 Excelによる検索と関数の利用 Excelによる条件判断と関数 Excelによる日付／時刻／曜日の表示
第8回	Excelによるグラフの作成	Excelによる条件付書式による表現 Excelによるグラフ作成／編集／移動／サイズ変更 Excelによる関数のグラフ化 Excelによる立体グラフの回転
第9回	Excelによるデータベース機能の活用	Excelにおけるデータの並べ替え Excelにおけるデータの抽出 Excelにおけるピボットテーブル機能の利用 Excelにおけるアドイン機能の利用
第10回	Excelによる統計分析	Excelによる相関分析と回帰分析 Excelによる各種分布の活用 Excelによるヒストグラム(度数分布)の作成 Excelによる検定と推定
第11回	Excelによるモデル化とシミュレーション	Excelによるモデル化 Excelによるシミュレーション Excelによる現象のモデル化と発展
第12回	PowerPointの画面構成と基本機能	PowerPointによるプレゼンテーションとテンプレート PowerPointによるテキスト編集 PowerPointによる表作成 PowerPointによる印刷形式
第13回	PowerPointによるスライドの編集とアニメーション	PowerPointによるスライドデザイン PowerPointによるスライドマスターの編集 PowerPointによるコンテンツ／グラフ／SmartArtの活用 PowerPointによるアニメーションの設定
第14回	Webページとの連携	WebページとHTML Wordで作るWebページとWord Web Appの機能 Excelで作るWebページとExcel Web Appの機能 PDFドキュメントの作成とPowerPoint Web Appの機能
第15回	獲得知識のチェックとまとめ	知識の整理
達成度基準等、成績評価方法	講義方法は、パソコンにより要点を解説するとともに、演習を通じて講義内容を理解させる。 ・レポート提出：40% 講義で予習事項の確認と復習問題に取り組む。 単元ごとにレポート課題を課す。 ・最終試験：60%	
テキスト	草実教出版 30時間アカデミック Office2019 Windows 10対応 著：杉本くみ子、大澤栄子 定価：1,430円（本体：1,300円）	
テキストISBN番号	ISBN:978-4-407-34833-0	

ウインドウを閉じる

## シラバス参照



講義名	AIデータサイエンス入門
開講責任部署	
講義区分	
配当年次	1年 前期・後期
単位数	2単位

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 松本 啓之亮	理工学科 情報科学専攻
教授	谷川 明夫	理工学科 数理科学専攻
准教授	宮下 鋭也	理工学科 数理科学専攻
教授	北村 章	理工学科 情報科学専攻
教授	高田 司郎	理工学科 情報科学専攻

授業の到達目標	データを扱う基本統計量、データを説明する回帰や相関関係、マイニングツールの使い方、アンケートの分析法などの内容を通してデータリテラシーを修得し、データの活用時に倫理・法律・社会的な留意事項や情報セキュリティ等を考慮する重要性を理解する。さらに様々な適用分野でのディープラーニング（深層学習）を用いた人物同定、音声テキストに変換する音声認識、他言語間の翻訳などの有用なツールとして利用されている先進な活用事例を用いAI を利活用するための素地を育成する。
授業の概要	デジタル化の進展に伴い、日常生活を取り巻く環境では膨大なデータが生成・蓄積されている。これらビッグデータを適切な方法で処理・解析し、価値ある情報を生み出すことが社会から求められている。近年、データサイエンスやAI（人工知能）がビッグデータから価値ある情報を生み出す基盤として、社会の推進力となると期待されている。そのため本講義では、データサイエンスやAIの入門として、活用事例の紹介、統計・データ解析手法、ディープラーニングなどのトピックスを紹介する。

## 授業計画表

回	内容	予習
第1回	オリエンテーション（高田）	オリエンテーションと事例紹介
第2回	データマイニングとテキストマイニングとは（北村）	データマイニングとテキストマイニングの紹介
第3回	データマイニングの基礎1（谷川）	データを扱う：基本統計量とは
第4回	データマイニングの基礎2（谷川）	データを説明する：相関と回帰
第5回	テキストマイニングの体験1（北村、宮下）	マイニングツールの使い方
第6回	テキストマイニングの体験2（北村、宮下）	実データの収集：アンケートの設計と実施
第7回	テキストマイニングを用いたアンケート分析（北村、宮下）	アンケート結果の分析
第8回	中間まとめ（松本）	前半講義の振り返り
第9回	ビックデータの収集（松本）	ビックデータの収集のやり方
第10回	ビックデータの活用と留意事項（松本）	ビックデータの活用方法とデータの取り扱いの留意事項
第11回	ディープラーニングとは（高田）	ディープラーニングの紹介
第12回	ディープラーニングの事例1（高田）	人物同定などの画像認識

第13回	ディープラーニングの事例2（高田）	音声認識、多言語翻訳
第14回	ディープラーニングの事例3（高田）	小説を書く、作曲を行う
第15回	まとめと総合演習（高田）	講義全般を通したまとめ
第16回		
達成度基準等、成績評価方法	レポートおよび演習課題。評価基準は講義内容が理解でき、さらに与えられた課題やレポートがまとめられているかで評価する。	
テキスト	特に指定しない。適宜資料等を配布する。	
参考書・参考資料等	必要に応じ、適宜文献等を提示する。	

[ウインドウを閉じる](#)



## シラバス参照

講義名	情報処理 I (政A)
開講責任部署	政治行政学科
講義区分	演習
配当年次	1年前期
単位数	1単位

## 担当教員

職種	氏名	所属
講師	◎ 吉川 満	経済経営学科

授業の到達目標	近年、コンピュータを活用するといった情報処理能力が益々重要となってきている。本授業では、政治経済学部での学習に必要な基礎的かつ実用的な情報処理技術について講義ならびに実習を行い、基礎的な情報処理能力を身につけることを目指す。
授業の概要	各授業、レジュメ(電子ファイル)を配付し、これに基づき基本的な手法を解説していく。各回の授業で重要なポイントは「課題」として提示し、この課題演習を通じたWord, Excel, PowerPointを中心とした基本的な情報処理技術を習得する。

## 授業計画表

回	内容	予習
第1回	ガイダンス	
第2回	WindowsとOfficeの基本機能(インターネット・メールの利用等について)	
第3回	Wordの基本的な操作方法(1): 基本的な利用法	
第4回	Wordの基本的な操作方法(2): イベント実施報告書	
第5回	Wordの基本的な操作方法(3): 見積書	
第6回	Wordの基本的な操作方法(4): 年賀状	
第7回	Excelによるデータのまとめ方(1): 基本的な利用法(VLOOKUP等)	
第8回	Excelによるデータのまとめ方(2): データの並び替え(フィルター機能を用いたデータ抽出, ピボットテーブル機能を用いたクロス集計)	
第9回	Excelによるグラフの作成: 円グラフ, 棒グラフ等	
第10回	アンケート調査の実施	
第11回	アンケート調査の回答	
第12回	Excelによるデータ分析: 相関分析, クロス集計, 単回帰分析	
第13回	PowerPointの取り扱い(アニメーション, 図の編集等)	
第14回	PowerPointを用いたプレゼンテーション(1)	
第15回	PowerPointを用いたプレゼンテーション(2)	

ディプロマポリシーとの関係	授業を通じて、政治、経済の各分野に関する高い専門性と幅広い視野を身につける。
達成度基準等、成績評価方法	定期試験を行わず、授業中の課題を中心とした授業への取り組み状況から総合評価する(100%)



## シラバス参照



講義名	情報処理入門（機械）
開講責任部署	理工学部
講義区分	演習
配当年次	1年前期
単位数	2単位

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授	◎ 古川 俊雄	理工学科 機械工学専攻

授業の到達目標	情報社会においてはネットワークやコンピュータを活用する情報活用能力を身につけることが重要である。本授業では、本学での学びや研究に必要と思われる基礎的かつ実用的なネットワークリテラシーおよび情報リテラシーを身につけるとともに理工学分野で必要となるプログラミングの基本の理解を図るとともに、コンピュータの可能性を理解することを到達目標とする。
授業の概要	本授業では、「道具」としてコンピュータを活用する上で、事前に理解しておかなければならない基本的な事項（コンピュータの基本操作方法、Windows上のOffice系アプリケーション等）について講義ならびに実習を行い、今後の理工学部での学習・研究活動における様々な情報やデータを整理して提示する方法について学ぶ。

## 授業計画表

回	予習
第1回	講義ガイダンス
第2回	情報演習室利用説明, ユーザID・パスワード
第3回	ブラウザ, 電子メール, タッチタイピング
第4回	Windows基本操作①
第5回	Windows基本操作②
第6回	Micorsoft Word利用方法①
第7回	Micorsoft Word利用方法②
第8回	演習（第4回、第5回、第6回、第7回）①
第9回	Microsoft Excel利用方法①
第10回	Microsoft Excel利用方法②
第11回	演習（第9回、第10回）②
第12回	Microsoft PowerPoint利用方法①
第13回	Microsoft PowerPoint利用方法②
第14回	演習（第12回、第13回）③
第15回	演習（全体）④

ディプロマポリシーとの関係	ディプロマポリシー② 「理学」「工学」を俯瞰的に見つめるため、学科共通となる基礎力、各専攻の専門領域に関する知識、技術、能力とともに、他分野の知識、技術を有し、それらを融合させる論理的、創造的思考力を身に付けること。
達成度基準等、成績評価方法	課題レポート・制作物により評価する。授業中に指示された演習課題についてまとめ、レポートとして制作物を提出する（100%） 上記評価項目の合計が60%以上となったものを合格とする
テキスト	杉本くみ子、大澤栄子、「30時間アカデミック Office2019」、実教出版
テキストISBN番号	ISBN : 978-4-407-34833-0
参考書・参考資料等	参考書・参考資料等 必要に応じ、適宜文献等を提示する。

[ウインドウを閉じる](#)

## シラバス参照



講義名	コンピュータ入門(社1)
開講責任部署	社会学科
講義区分	演習
配当年次	1・2年前期
単位数	2単位

## 担当教員

職種	氏名	所属
非常勤講師	◎ 岩田 一男	社会

授業の到達目標	<p>大学のみならずビジネス社会で必要不可欠なコンピュータリテラシーをトータルで学ぶ。</p> <p>1 学内のシステム環境を理解したうえで電子メールの利用ができ、ネットワークを安全に利用するための情報倫理や、セキュリティに関する基礎知識を得る。</p> <p>2 大学の授業などで課される各種レポート作成ができ、プレゼンテーションに関する基礎知識を得る。</p> <p>3 表計算ソフトを活用でき、基礎的なデータ分析に関する基礎知識を得る。</p>
授業の概要	<p>コンピュータの初心者のために、コンピュータやネットワークの基礎知識、情報倫理、電子メールの送受信、インターネットによる情報検索、表計算、ワープロ、多言語文字入力、プレゼンテーションソフトの操作方法などを、実際にコンピュータを操作しながら学習する。</p>

## 授業計画表

回	内容
第1回	ガイダンス、基本操作、日本語入力、タッチタイピング、情報倫理
第2回	電子メール、インターネット、情報倫理
第3回	Word入門
第4回	Word実践
第5回	Word活用・見栄え
第6回	Word活用・長文
第7回	Excel入門
第8回	Excel実践・基本関数
第9回	Excel実践・応用関数
第10回	Excel活用・グラフ
第11回	Excel活用・データベース
第12回	ExcelとWordの連携
第13回	PowerPoint入門
第14回	PowerPoint実践
第15回	まとめ

ディプロマポリシーとの関係	ディプロマポリシー① 社会学および関連分野に関する概念、理論、基礎的知識を有していること。
達成度基準等、成績評価方法	授業内試験(40%)、各回の課題(50%)、タイピング(10%)
テキスト	30時間アカデミック 情報リテラシー Office2019 杉本くみ子・大澤栄子、実教出版
テキストISBN番号	ISBN:978-4-407-34833-0
参考書・参考資料等	適宜授業中に紹介する

ウインドウを閉じる

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	1単位 当たり 時間数	配 当 年 次	必修 科目	選択 科目	中学 校・高 学 校 教 諭 免 許	特別 支 援 校 教 諭 免 許	小学 校 教 諭 免 許	
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	言葉と文学	講義	2	15	4前	○				
			くらしと芸術	講義	2	15	4前	○				
			心理学概論	講義	2	15	1前	○				
	人間と社会	人間と社会	日本国憲法	講義	2	15	2前	○		○	○	
			くらしと福祉	講義	2	15	1後		○			
			経済学概論	講義	2	15	1前		○			
	人間と自然	人間と自然	情報処理	演習	2	15	1後	○		○	○	
			基礎統計学	講義	2	15	2前		○			
	外国語科目	外国語科目	英語Ⅰ	演習	2	15	1前	○		○	○	
			英語Ⅱ	演習	2	15	1後	○		○	○	
	保健体育科目	保健体育科目	スポーツ	演習	2	15	1前	○		○	○	
	キャリア・ガイダンス科目	キャリア・ガイダンス科目	基礎セミナーⅠ	演習	2	30	1通	○				
			基礎セミナーⅡ	演習	2	30	2通	○				
			卒業研究Ⅰ	演習	2	30	3通	○				
		卒業研究Ⅱ	演習	2	30	4通	○					
専門基礎科目	共通教育基礎科目	共通教育基礎科目	教師論	講義	2	15	1後	○		○	○	
			教育基礎論	講義	2	15	2後	○		○	○	
			教育心理学	講義	2	15	1後	○		○	○	
			教育制度論	講義	2	15	2後	○		○	○	
			特別支援教育入門	講義	1	15	1前	○		○	○	
	中等基礎科目	中等基礎科目	教育課程論	講義	2	15	1前	○		○	○	
			道徳理論と指導法	講義	2	15	3前	○		○	○	
			特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	講義	2	15	3前	○		○	○	
			教育の方法技術	講義	2	15	2後	○		○	○	
			生徒・進路指導論	講義	2	15	3前	○		○	○	
		教育相談	講義	2	15	3前	○		○	○		
	専門教育科目	教科に関する科目	教科に関する科目	英語学概論Ⅰ	講義	2	15	1前	○		○	
				英語学概論Ⅱ	講義	2	15	1後	○		○	
				英文法概説Ⅰ	講義	2	15	1前	○		○	
			英文法概説Ⅱ	講義	2	15	1後	○		○		
			英語学演習Ⅰ	演習	2	15	4前	○		○		
			英語学演習Ⅱ	演習	2	15	4後	○		○		
			英語文学概論Ⅰ	講義	2	15	1前	○		○		
			英語文学概論Ⅱ	講義	2	15	1後	○		○		
			Communicative EnglishⅠ	演習	2	15	1前	○		○		
			Communicative EnglishⅡ	演習	2	15	1後	○		○		
			Intensive ListeningⅠ	演習	2	15	2前	○		○		
			Intensive ListeningⅡ	演習	2	15	2後	○		○		
			Interactive Reading	演習	2	15	2前	○		○		
			Academic Writing	演習	2	15	2後	○		○		
		異文化理解	講義	2	15	2前	○		○			
教科の指導法に関する科目		教科の指導法に関する科目	中等教科教育法(英語Ⅰ)	講義	2	15	1後	○		○		
			中等教科教育法(英語Ⅱ)	講義	2	15	2前	○		○		
			中等教科教育法(英語Ⅲ)	講義	2	15	2後	○		○		
			中等教科教育法(英語Ⅳ)	講義	2	15	3前	○		○		

英語教育(令和3年入学)

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	1単位 当たり 時間数	配 当 年 次	必修 科目	選択 科目	中学 校・高 学 校 教 諭 免 許	特別 支 援 校 教 諭 免 許	小学 校 教 諭 免 許
専門教育科目	特別支援教育に関する科目	特別支援教育総論	講義	2	15	1前	○			○	
		知的障害者の心理・生理・病理	講義	2	15	3前		○		○	
		肢体不自由者の心理・生理・病理	講義	2	15	1後		○		○	
		病弱者の心理・生理・病理	講義	2	15	2後		○		○	
		知的障害者教育論	講義	2	15	1前	○			○	
		知的障害者教育課程論	講義	2	15	4前		○		○	
		肢体不自由者教育論	講義	2	15	1前		○		○	
		肢体不自由者教育課程論	講義	2	15	4前		○		○	
		病弱者教育論	講義	2	15	1前		○		○	
		病弱者教育課程論	講義	2	15	4後		○		○	
		視覚障害教育総論	講義	1	8	3前		○		○	
		聴覚障害教育総論	講義	1	8	3前		○		○	
		重複障害教育総論	講義	2	15	4前		○		○	
		発達障害教育総論	講義	2	15	3前	○			○	
	障害児教育指導法	演習	2	15	4後		○			△	
	実習科目	中等教育実習事前事後指導	演習	1	15	3前	○		○		
		中等教育実習	実習	4	45	3後	○		○		
		障害児教育実習事前事後指導	演習	1	15	4後		○		○	
		障害児教育実習	実習	2	45	4後		○		○	
	総合演習	教職実践演習(中・高)	演習	2	15	4後	○		○		
卒業論文	卒業論文	演習	4	30	4通	○					
							94		76	39	31
自由選択科目	初等国語Ⅰ	講義	2	15	1前		○			○	
	初等国語Ⅱ	講義	2	15	2前		○			○	
	初等算数Ⅰ	講義	2	15	1後		○			○	
	初等算数Ⅱ	講義	2	15	2前		○			○	
	初等理科	講義	2	15	1後		○			○	
	初等音楽	演習	2	15	1後		○			○	
	初等図画工作	演習	2	15	1後		○			○	
	初等体育	演習	2	15	1後		○			○	
	初等英語	講義	2	15	2前		○			○	
	初等教科教育法(国語)	講義	2	15	2前		○			○	
	初等教科教育法(社会)	講義	2	15	2後		○			○	
	初等教科教育法(算数)	講義	2	15	2後		○			○	
	初等教科教育法(理科)	講義	2	15	2前		○			○	
	初等教科教育法(生活)	講義	2	15	2後		○			○	
	初等教科教育法(音楽)	講義	2	15	2後		○			○	
	初等教科教育法(図画工作)	講義	2	15	2前		○			○	
	初等教科教育法(家庭)	講義	2	15	2前		○			○	
	初等教科教育法(体育)	講義	2	15	2前		○			○	
	初等教科教育法(英語)	講義	2	15	2後		○			○	
	小学校実習事前事後指導	演習	1	15	3前		○			○	
	小学校教育実習	実習	4	45	3後		○			○	
	教職実践演習(幼・小)	演習	2	15	4後		○			○	
	AIデータサイエンス入門	講義	2	15	1前後			○			

国語教育(令和3年入学)

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	1単位 当たり時間数	配当 年次	必修 科目	選択 科目	中学 ・ 高等 学校 教諭 免許	特別 支援 学校 教諭 免許	小学 教諭 免許	
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	言葉と文学	講義	2	15	4前	○				
			くらしと芸術	講義	2	15	4前	○				
			心理学概論	講義	2	15	1前	○				
	人間と社会	日本国憲法	講義	2	15	2前	○		○	○	○	
		くらしと福祉	講義	2	15	1後		○				
		経済学概論	講義	2	15	1前		○				
	人間と自然	情報処理	演習	2	15	1前	○		○	○	○	
		基礎統計学	講義	2	15	2前		○				
	外国語科目	英語Ⅰ	演習	2	15	1前	○		○	○	○	
		英語Ⅱ	演習	2	15	1後	○		○	○	○	
	保健体科目	スポーツ	演習	2	15	1前	○		○	○	○	
	キャリア・ガイダンス科目	基礎セミナーⅠ	演習	2	30	1通	○					
		基礎セミナーⅡ	演習	2	30	2通	○					
		卒業研究Ⅰ	演習	2	30	3通	○					
卒業研究Ⅱ		演習	2	30	4通	○						
専門基礎科目	共通教育基礎科目	教師論	講義	2	15	1後	○		○		○	
		教育基礎論	講義	2	15	2後	○		○		○	
		教育心理学	講義	2	15	1後	○		○		○	
		教育制度論	講義	2	15	2後	○		○		○	
		特別支援教育入門	講義	1	15	1前	○		○		○	
	中等基礎科目	教育課程論	講義	2	15	1前	○		○		○	
		道徳理論と指導法	講義	2	15	3前	○		○		○	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	講義	2	15	3前	○		○		○	
		教育の方法技術	講義	2	15	2後	○		○		○	
		生徒・進路指導論	講義	2	15	3前	○		○		○	
	専門科目	教科に関する科目	国語学Ⅰ(音声言語含む)	講義	2	15	1前	○		○		
			国語学Ⅱ(文章表現含む)	講義	2	15	1後	○		○		
			国語文法論Ⅰ	講義	2	15	2後	○		○		
			国語文法論Ⅱ	講義	2	15	3前	○		○		
国語史Ⅰ			講義	2	15	3前	○		○			
国語史Ⅱ			講義	2	15	4前	○		○			
国文学概論Ⅰ			講義	2	15	1前	○		○			
国文学概論Ⅱ			講義	2	15	1後	○		○			
国文学史Ⅰ			講義	2	15	1後	○		○			
国文学史Ⅱ			講義	2	15	2後	○		○			
国文学講読Ⅰ			講義	2	15	1後	○		○			
国文学講読Ⅱ			講義	2	15	2後	○		○			
漢文学Ⅰ			講義	2	15	1後	○		○			
漢文学Ⅱ			講義	2	15	2前	○		○			
書道(書写)		演習	2	15	2前	○		○				
教科の指導法に関する科目	中等教科教育法(国語Ⅰ)	講義	2	15	1後	○		○				
	中等教科教育法(国語Ⅱ)	講義	2	15	2前	○		○				
	中等教科教育法(国語Ⅲ)	講義	2	15	2後	○		○				
	中等教科教育法(国語Ⅳ)	講義	2	15	3前	○		○				

国語教育(令和3年入学)

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	1単位 当たり時間数	配当 年次	必修 科目	選択 科目	中学・ 高等学校 教諭許 免	特別 支援校 教諭許 免	小学 教諭許 免
専門教育科目	特別支援教育に関する科目	特別支援教育総論	講義	2	15	1前	○			○	
		知的障害者の心理・生理・病理	講義	2	15	3前		○		○	
		肢体不自由者の心理・生理・病理	講義	2	15	1後		○		○	
		病弱者の心理・生理・病理	講義	2	15	2後		○		○	
		知的障害者教育論	講義	2	15	1前	○			○	
		知的障害者教育課程論	講義	2	15	4前		○		○	
		肢体不自由者教育論	講義	2	15	1前		○		○	
		肢体不自由者教育課程論	講義	2	15	4前		○		○	
		病弱者教育論	講義	2	15	1前		○		○	
		病弱者教育課程論	講義	2	15	4後		○		○	
		視覚障害教育総論	講義	1	8	3前		○		○	
		聴覚障害教育総論	講義	1	8	3前		○		○	
		重複障害教育総論	講義	2	15	4前		○		○	
		発達障害教育総論	講義	2	15	3前	○			○	
	障害児教育指導法	演習	2	15	4後		○		△		
	実習科目	中等教育実習事前事後指導	演習	1	15	3前	○		○		
		中等教育実習	実習	4	45	3後	○		○		
		障害児教育実習事前事後指導	演習	1	15	4後		○		○	
		障害児教育実習	実習	2	45	4後		○		○	
	総合演習	教職実践演習(中・高)	演習	2	15	4後	○		○		
	卒業論文	卒業論文	演習	4	30	4通	○				
								94	76	39	31
	自由選択科目	初等国語Ⅰ	講義	2	15	1前		○			○
初等国語Ⅱ		講義	2	15	2前		○			○	
初等算数Ⅰ		講義	2	15	1後		○			○	
初等算数Ⅱ		講義	2	15	2前		○			○	
初等理科		講義	2	15	1後		○			○	
初等音楽		演習	2	15	1後		○			○	
初等図画工作		演習	2	15	1後		○			○	
初等体育		演習	2	15	1後		○			○	
初等英語		講義	2	15	2前		○			○	
初等教科教育法(国語)		講義	2	15	2前		○			○	
初等教科教育法(社会)		講義	2	15	2後		○			○	
初等教科教育法(算数)		講義	2	15	2後		○			○	
初等教科教育法(理科)		講義	2	15	2前		○			○	
初等教科教育法(生活)		講義	2	15	2後		○			○	
初等教科教育法(音楽)		講義	2	15	2後		○			○	
初等教科教育法(図画工作)		講義	2	15	2前		○			○	
初等教科教育法(家庭)		講義	2	15	2前		○			○	
初等教科教育法(体育)		講義	2	15	2前		○			○	
初等教科教育法(英語)		講義	2	15	2後		○			○	
小学校実習事前事後指導		演習	1	15	3前		○			○	
小学校教育実習		実習	4	45	3後		○			○	
教職実践演習(幼・小)		演習	2	15	4後		○			○	
AIデータサイエンス入門		講義	2	15	1前後		○				
										45	

初等幼児（令和3年入学）

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	1単 位当 たり 時間 数	配 当 年 次	必修 科目	選択 科目	小学 校教 諭免 許	幼 稚 園教 諭免 許	特別 支援 学校 教諭 免許	
共通 基礎 科目	教養科目	人間と文化	言葉と文学	講義	2	15	4前		○			
		人間と文化	くらしと芸術	講義	2	15	4前		○			
		人間と文化	心理学概論	講義	2	15	1前		○			
	人間と社会	人間と社会	日本国憲法	講義	2	15	2前	○		○	○	
		人間と社会	くらしと福祉	講義	2	15	1後		○			
		人間と社会	経済学概論	講義	2	15	1前		○			
	人間と自然	人間と自然	情報処理	演習	2	15	1前	○		○	○	
		人間と自然	基礎統計学	講義	2	15	2前		○			
	外国語科目	外国語科目	英語Ⅰ	演習	2	15	1前	○		○	○	
		外国語科目	英語Ⅱ	演習	2	15	1後	○		○	○	
	保健体育科目	保健体育科目	スポーツ	演習	2	15	1後	○		○	○	
	キャリア・ ガイダンス 科目	キャリア・ ガイダンス 科目	基礎セミナーⅠ	演習	2	30	1通	○				
		キャリア・ ガイダンス 科目	基礎セミナーⅡ	演習	2	30	2通	○				
		キャリア・ ガイダンス 科目	卒業研究Ⅰ	演習	2	30	3通	○				
キャリア・ ガイダンス 科目		卒業研究Ⅱ	演習	2	30	4通	○					
専門 教育 科目	共通教育 基礎科目	共通教育 基礎科目	教師論	講義	2	15	1後	○		○	○	
		共通教育 基礎科目	教育基礎論	講義	2	15	2後	○		○	○	
		共通教育 基礎科目	教育心理学	講義	2	15	1後	○		○	○	
		共通教育 基礎科目	教育制度論	講義	2	15	2後	○		○	○	
		共通教育 基礎科目	特別支援教育入門	講義	1	15	1前	○		○	○	
		共通教育 基礎科目	特別支援教育入門	講義	1	15	1前	○		○	○	
	初等幼児 教育 基礎科目	初等幼児 教育 基礎科目	初等幼児 教育 基礎科目	幼児理解	講義	2	15	1後		○		○
		初等幼児 教育 基礎科目	初等幼児 教育 基礎科目	教育課程論	講義	2	15	1前	○		○	○
		初等幼児 教育 基礎科目	初等幼児 教育 基礎科目	道徳理論と指導法	講義	2	15	2後	○		○	
		初等幼児 教育 基礎科目	初等幼児 教育 基礎科目	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	講義	2	15	2前	○		○	
		初等幼児 教育 基礎科目	初等幼児 教育 基礎科目	教育の方法技術	講義	2	15	3前	○		○	○
		初等幼児 教育 基礎科目	初等幼児 教育 基礎科目	生徒・進路指導論	講義	2	15	2後	○		○	
	専門 科目	教科に 関する 科目	教科に 関する 科目	初等国語Ⅰ	講義	2	15	1前	○		○	○
			教科に 関する 科目	初等国語Ⅱ	講義	2	15	2前	○		○	○
			教科に 関する 科目	初等社会	講義	2	15	3前		○	△	
			教科に 関する 科目	初等算数Ⅰ	講義	2	15	1後	○		○	○
			教科に 関する 科目	初等算数Ⅱ	講義	2	15	2前	○		○	○
			教科に 関する 科目	初等理科	講義	2	15	1後	○		○	
			教科に 関する 科目	初等生活	講義	2	15	2前		○	△	△
教科に 関する 科目			初等音楽	演習	2	15	1前	○		○	○	
教科に 関する 科目			初等図画工作	演習	2	15	1後	○		○	○	
教科に 関する 科目			初等家庭	講義	2	15	1後		○	△		
教科に 関する 科目			初等体育	演習	2	15	1前	○		○	○	
教科に 関する 科目			初等英語	講義	2	15	2前	○		○		

初等幼児(令和3年入学)

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	1単 位当 たり 時間 数	配 当 年 次	必修 科目	選択 科目	小学 校教 諭免 許	幼 稚 園教 諭免 許	特別 支 援 学 校 教 諭 免 許	
専 門 教 育 科 目	教 科 ・ 保 育 内 容 の 指 導 法 に 関 す る 科 目	初等教科教育法(国語)	講義	2	15	2前	○	○			
		初等教科教育法(社会)	講義	2	15	2後	○	○			
		初等教科教育法(算数)	講義	2	15	2後	○	○			
		初等教科教育法(理科)	講義	2	15	2前	○	○			
		初等教科教育法(生活)	講義	2	15	2後	○	○			
		初等教科教育法(音楽)	講義	2	15	2後	○	○			
		初等教科教育法(図画工作)	講義	2	15	2前	○	○			
		初等教科教育法(家庭)	講義	2	15	2前	○	○			
		初等教科教育法(体育)	講義	2	15	1後	○	○			
		初等教科教育法(英語)	講義	2	15	2後	○	○			
		保育内容総論Ⅰ	演習	2	15	1前		○		○	
		保育内容総論Ⅱ	演習	2	15	1後		○		○	
		保育内容(表現)	演習	2	15	1後		○		○	
		保育内容(健康)	演習	2	15	1後		○		○	
		保育内容(人間関係)	演習	2	15	1前		○		○	
		保育内容(環境)	演習	2	15	1前		○		○	
		保育内容(言葉)	演習	2	15	1後		○		○	
	特 別 支 援 教 育 に 関 す る 科 目	特別支援教育総論	講義	2	15	1前	○				○
		知的障害者の心理・生理・病理	講義	2	15	3前		○			○
		肢体不自由者の心理・生理・病理	講義	2	15	1後		○			○
		病弱者の心理・生理・病理	講義	2	15	2後		○			○
		知的障害者教育論	講義	2	15	1前	○				○
		知的障害者教育課程論	講義	2	15	4前		○			○
		肢体不自由者教育論	講義	2	15	1前		○			○
		肢体不自由者教育課程論	講義	2	15	4前		○			○
		病弱者教育論	講義	2	15	1前		○			○
		病弱者教育課程論	講義	2	15	4後		○			○
		視覚障害教育総論	講義	1	8	3前		○			○
		聴覚障害教育総論	講義	1	8	3前		○			○
		重複障害教育総論	講義	2	15	4前		○			○
	発達障害教育総論	講義	2	15	3前	○				○	
	障害児教育指導法	演習	2	15	4後		○			△	
	実 習 科 目	小学校実習事前事後指導	演習	1	15	3前	○		○		
		小学校教育実習	実習	4	45	3後	○		○		
		幼稚園実習事前事後指導	演習	1	15	2前		○		○	
		幼稚園教育実習	実習	4	45	2後		○		○	
		障害児教育実習事前事後指導	演習	1	15	4後		○			○
		障害児教育実習	実習	2	45	4後		○			○
	総合演習	教職実践演習(幼・小)	演習	2	15	4後	○		○	○	
	卒業論文	卒業論文	演習	4	30	4通	○				
	自由選択科目	AIデータサイエンス入門	講義	2	15	1前後		○			
							94		76	62	39

数学教育(令和3年入学)

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	1単位 当たり時間数	配当 年次	必修 科目	選択 科目	中学 ・高 等学 校教 諭免 許	特別 支援 学校 教諭 免許	小学 教諭 免許	
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	言葉と文学	講義	2	15	4前	○				
			くらしと芸術	講義	2	15	4前	○				
			心理学概論	講義	2	15	1前	○				
	人間と社会	日本国憲法	講義	2	15	2前	○		○	○	○	
		くらしと福祉	講義	2	15	1後		○				
		経済学概論	講義	2	15	1前		○				
	人間と自然	情報処理	演習	2	15	1後	○		○	○	○	
		基礎統計学	講義	2	15	2前		○				
	外国語科目	英語Ⅰ	演習	2	15	1前	○		○	○	○	
		英語Ⅱ	演習	2	15	1後	○		○	○	○	
	保健体育科	スポーツ	演習	2	15	1後	○		○	○	○	
	キャリア・ガイダンス科目	基礎セミナーⅠ	演習	2	30	1通	○					
		基礎セミナーⅡ	演習	2	30	2通	○					
		卒業研究Ⅰ	演習	2	30	3通	○					
卒業研究Ⅱ		演習	2	30	4通	○						
専門基礎科目	共通教育 基礎科目	教師論	講義	2	15	1後	○		○		○	
		教育基礎論	講義	2	15	2後	○		○		○	
		教育心理学	講義	2	15	1後	○		○		○	
		教育制度論	講義	2	15	2後	○		○		○	
		特別支援教育入門	講義	1	15	1前	○		○		○	
	中等 基礎 科目	教育課程論	講義	2	15	1前	○		○		○	
		道徳理論と指導法	講義	2	15	3前	○		○		○	
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	講義	2	15	3前	○		○		○	
		教育の方法技術	講義	2	15	2後	○		○		○	
		生徒・進路指導論	講義	2	15	3前	○		○		○	
	専門教育科目	教科に 関する 科目	基礎数学	講義	2	15	1前	○		○		
			代数学Ⅰ	講義	2	15	1前	○		○		
			代数学Ⅱ	講義	2	15	2後	○		○		
			代数学Ⅲ	講義	2	15	3前	○		○		
代数学Ⅳ			講義	2	15	4前	○		○			
幾何学Ⅰ			講義	2	15	1前	○		○			
幾何学Ⅱ			講義	2	15	2前	○		○			
幾何学Ⅲ			講義	2	15	3前	○		○			
幾何学Ⅳ			講義	2	15	4前	○		○			
解析学Ⅰ			講義	2	15	1後	○		○			
解析学Ⅱ			講義	2	15	2後	○		○			
解析学Ⅲ			講義	2	15	3前	○		○			
解析学Ⅳ			講義	2	15	4前	○		○			
確率・統計学			講義	2	15	2後	○		○			
コンピュータ		講義	2	15	1後	○		○				
教科の 指導法 に関する 科目	中等教科教育法(数学Ⅰ)	講義	2	15	1後	○		○				
	中等教科教育法(数学Ⅱ)	講義	2	15	2前	○		○				
	中等教科教育法(数学Ⅲ)	講義	2	15	2後	○		○				
	中等教科教育法(数学Ⅳ)	講義	2	15	3前	○		○				

数学教育(令和3年入学)

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	1単位 当たり時間数	配当 年次	必修 科目	選択 科目	中学・高 校等校 教諭許 可	特別 支援学 校教諭 免許	小学 校教諭 免許
専門教育科目	特別支援教育に関する科目	特別支援教育総論	講義	2	15	1前	○			○	
		知的障害者の心理・生理・病理	講義	2	15	3前		○		○	
		肢体不自由者の心理・生理・病理	講義	2	15	1後		○		○	
		病弱者の心理・生理・病理	講義	2	15	2後		○		○	
		知的障害者教育論	講義	2	15	1前	○			○	
		知的障害者教育課程論	講義	2	15	4前		○		○	
		肢体不自由者教育論	講義	2	15	1前		○		○	
		肢体不自由者教育課程論	講義	2	15	4前		○		○	
		病弱者教育論	講義	2	15	1前		○		○	
		病弱者教育課程論	講義	2	15	4後		○		○	
		視覚障害教育総論	講義	1	8	3前		○		○	
		聴覚障害教育総論	講義	1	8	3前		○		○	
		重複障害教育総論	講義	2	15	4前		○		○	
		発達障害教育総論	講義	2	15	3前	○			○	
	障害児教育指導法	演習	2	15	4後		○			△	
	実習科目	中等教育実習事前事後指導	演習	1	15	3前	○		○		
		中等教育実習	実習	4	45	3後	○		○		
		障害児教育実習事前事後指導	演習	1	15	4後		○		○	
		障害児教育実習	実習	2	45	4後		○		○	
	総合演習	教職実践演習(中・高)	演習	2	15	4後	○		○		
	卒業論文	卒業論文	演習	4	30	4通	○				
								94	76	39	31
	自由選択科目	初等国語Ⅰ	講義	2	15	1前		○			○
初等国語Ⅱ		講義	2	15	2前		○			○	
初等算数Ⅰ		講義	2	15	1後		○			○	
初等算数Ⅱ		講義	2	15	2前		○			○	
初等理科		講義	2	15	1後		○			○	
初等音楽		演習	2	15	1後		○			○	
初等図画工作		演習	2	15	1後		○			○	
初等体育		演習	2	15	1後		○			○	
初等英語		講義	2	15	2前		○			○	
初等教科教育法(国語)		講義	2	15	2前		○			○	
初等教科教育法(社会)		講義	2	15	2後		○			○	
初等教科教育法(算数)		講義	2	15	2後		○			○	
初等教科教育法(理科)		講義	2	15	2前		○			○	
初等教科教育法(生活)		講義	2	15	2後		○			○	
初等教科教育法(音楽)		講義	2	15	2後		○			○	
初等教科教育法(図画工作)		講義	2	15	2前		○			○	
初等教科教育法(家庭)		講義	2	15	2前		○			○	
初等教科教育法(体育)		講義	2	15	2前		○			○	
初等教科教育法(英語)		講義	2	15	2後		○			○	
小学校実習事前事後指導		演習	1	15	3前		○			○	
小学校教育実習		実習	4	45	3後		○			○	
教職実践演習(幼・小)		演習	2	15	4後		○			○	
AIデータサイエンス入門		講義	2	15	1前後		○				
										45	

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	1単当たり時間数	配当年度	必修科目	選択科目	保健師受験資格	助産師受験資格	
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	心理学概論	講義	2	15	1後	○			
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	15	1前	○			
		人間と自然	情報処理	演習	2	15	1後	○			
	外国語科目	英語Ⅰ	英語Ⅰ	演習	2	15	1前	○			
		英語Ⅱ	英語Ⅱ	演習	2	15	1後	○			
	保健体育科目	スポーツ	演習	2	15	1前	○				
	キャリア・ガイダンス科目	基礎セミナーⅠ	基礎セミナーⅠ	演習	2	30	1通	○			
		基礎セミナーⅡ	基礎セミナーⅡ	演習	2	30	2通	○			
		卒業研究Ⅰ	卒業研究Ⅰ	演習	2	30	3通	○			
		卒業研究Ⅱ	卒業研究Ⅱ	演習	2	30	4通	○			
専門基礎科目	専門共通科目	チーム医療概論Ⅰ	チーム医療概論Ⅰ	講義	1	15	1前	○			
		チーム医療概論Ⅱ	チーム医療概論Ⅱ	講義	1	15	1後	○			
	人体の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ(循環・骨格・筋系等)	人体の構造と機能Ⅰ(循環・骨格・筋系等)	演習	2	30	1前	○			
		人体の構造と機能Ⅱ(神経・内分泌・消化器等)	人体の構造と機能Ⅱ(神経・内分泌・消化器等)	演習	2	30	1前	○			
		生化学	生化学	講義	2	15	1前	○			
	疾病の成り立ちと回復の促進	病態学総論	病態学総論	講義	1	15	1後	○			
		病態治療論Ⅰ(呼吸と循環)	病態治療論Ⅰ(呼吸と循環)	講義	2	15	1後	○			
		病態治療論Ⅱ(代謝と栄養)	病態治療論Ⅱ(代謝と栄養)	講義	2	15	1後	○			
		病態治療論Ⅲ(神経と運動)	病態治療論Ⅲ(神経と運動)	講義	2	15	1後	○			
		病態治療論Ⅳ(血液)	病態治療論Ⅳ(血液)	講義	1	15	2前	○			
		病態治療論Ⅴ(排泄・感覚)	病態治療論Ⅴ(排泄・感覚)	講義	1	15	2前	○			
		微生物と感染	微生物と感染	講義	2	15	1後	○			
		治療学総論	治療学総論	講義	1	15	1前	○			
		薬理学	薬理学	講義	2	15	2前	○			
		社会と健康支援制度	看護と法律	看護と法律	講義	1	15	3前	○		○
	環境と健康		環境と健康	講義	1	15	1前	○			
	保健医療福祉行政論		保健医療福祉行政論	講義	2	15	3前	○		○	
	精神保健		精神保健	講義	2	15	2前	○			
	食品・栄養学		食品・栄養学	講義	1	15	2前	○			
	専門教育科目	基礎看護学	基礎看護学総論Ⅰ	基礎看護学総論Ⅰ	講義	2	15	1前	○		
			基礎看護学総論Ⅱ	基礎看護学総論Ⅱ	講義	2	15	1後	○		
			基礎看護技術論Ⅰ	基礎看護技術論Ⅰ	講義	2	15	1前	○		
			基礎看護技術論Ⅱ	基礎看護技術論Ⅱ	講義	2	15	1後	○		
			基礎看護学演習Ⅰ	基礎看護学演習Ⅰ	演習	1	15	1前	○		
			基礎看護学演習Ⅱ	基礎看護学演習Ⅱ	演習	1	15	1後	○		
			基礎看護学演習Ⅲ	基礎看護学演習Ⅲ	演習	1	15	2前	○		
			基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅰ	実習	1	45	1後	○		
		基礎看護学実習Ⅱ	基礎看護学実習Ⅱ	実習	2	45	2前	○			
		臨床応用看護学	成人看護学総論	成人看護学総論	講義	2	15	1後	○		
			成人臨床看護学Ⅰ	成人臨床看護学Ⅰ	講義	2	15	2前	○		
成人臨床看護学Ⅱ			成人臨床看護学Ⅱ	講義	2	15	2後	○			
成人看護学演習			成人看護学演習	演習	1	15	3前	○			
成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)			成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)	実習	3	45	3後	○			
成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)			成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)	実習	3	45	3後	○			
老年看護学総論			老年看護学総論	講義	2	15	2前	○			
老年臨床看護学			老年臨床看護学	講義	2	15	2後	○			
老年看護学演習			老年看護学演習	演習	1	15	3前	○			
老年看護学実習Ⅰ(生活援助)			老年看護学実習Ⅰ(生活援助)	実習	2	45	3後	○			
老年看護学実習Ⅱ(健康障害)			老年看護学実習Ⅱ(健康障害)	実習	2	45	3後	○			
小児看護学総論	小児看護学総論		講義	2	15	2前	○		○		
小児臨床看護学	小児臨床看護学	講義	2	15	2後	○					
小児看護学演習	小児看護学演習	演習	1	15	3前	○					
小児看護学実習	小児看護学実習	実習	2	45	4前	○					
母性看護学総論	母性看護学総論	講義	2	15	2前	○		○			
母性臨床看護学	母性臨床看護学	講義	2	15	2後	○					
母性看護学演習	母性看護学演習	演習	1	15	3前	○					
母性看護学実習	母性看護学実習	実習	2	45	4前	○					
精神看護学総論	精神看護学総論	講義	2	15	2前	○					
精神臨床看護学	精神臨床看護学	講義	2	15	2後	○					
精神看護学演習	精神看護学演習	演習	1	15	3前	○					
精神看護学実習	精神看護学実習	実習	2	45	3後	○					

看護学科(便覧用)(R3入学生用)

専門教育科目	統合看護学	在宅看護学総論	講義	1	15	2前	○			
		在宅臨床看護学	講義	2	15	2後	○			
		在宅看護学演習	演習	1	15	3前	○			
		在宅看護学実習	実習	2	45	4前	○			
		家族ケア論	講義	1	15	4後		○	○	
		国際看護	講義	1	15	4後		○	○	
		災害看護	講義	1	15	4後		○	○	
		看護と安全	講義	2	15	3前	○		○	
		看護倫理	講義	1	15	1後	○		○	
		看護管理	講義	1	15	3前	○			
		統合実習	実習	2	45	4前	○			
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学総論	講義	2	15	2前		○	○※	
		健康相談活動の理論及び方法	講義	2	15	2後		○	○※	
		産業保健論	講義	2	15	3前		○	○※	
		学校保健論(学校安全を含む)	講義	2	15	2前		○	○※	
		公衆衛生看護活動論	講義	2	15	2後		○	○※	
		公衆衛生学	講義	1	15	1後		○	○※	
		疫学	講義	1	15	2後		○	○※	
		保健基礎統計学	講義	2	15	3前		○	○※	
		公衆衛生看護学総論実習Ⅰ	実習	1	45	3後		○	○※	
		公衆衛生看護学総論実習Ⅱ	実習	2	45	4前		○	○※	
	公衆衛生看護学総論実習Ⅲ	実習	2	45	4後		○	○※		
	助産学	助産学概論	講義	2	15	2前		○		○※
		助産管理論	講義	2	15	2後		○		○※
		周産期医学	講義	2	15	2後		○		○※
		助産診断・技術学概論	講義	1	15	3前		○		○※
		助産診断・技術学Ⅰ	演習	1	15	3前		○		○※
		助産診断・技術学Ⅱ	演習	1	15	3前		○		○※
		助産診断・技術学Ⅲ	演習	1	15	3前		○		○※
		助産診断・技術学Ⅳ	演習	1	15	3前		○		○※
		助産学実習Ⅰ	実習	5	45	4前		○		○※
	助産学実習Ⅱ	実習	6	45	4後		○		○※	
	卒業論文	研究方法論	講義	2	15	2後	○			
		卒業論文	演習	2	30	4通	○			

自由選択科目	言葉と文学	講義	2	15			○		
	くらしと芸術	講義	2	15			○		
	心理学概論	講義	2	15			○		
	哲学概論	講義	2	15			○		
	生活文化概論	講義	2	15			○		
	くらしと福祉	講義	2	15			○		
	くらしと人権	講義	2	15			○		
	国際関係論	講義	2	15			○		
	経済学概論	講義	2	15			○		
	経営学入門	講義	2	15			○		
	政治学入門	講義	2	15			○		
	行政学入門	講義	2	15			○		
	現代社会学	講義	2	15			○		
	健康科学概論	講義	2	15			○		
	AIデータサイエンス入門	講義	2	15			○		

言語聴覚(便覧用)(R3入学生用)

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	1単 位当 たり 時間 数	配当 年次	必修 科目	選択 科目
共通 基礎 科目	教養 科目	人間と文化	心理学概論	講義	2	15	1後	○
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	15	1前	○
		人間と自然	情報処理	演習	2	15	1前	○
			基礎統計学	講義	2	15	1後	○
	外国語科目	英語Ⅰ	演習	2	15	1前	○	
		英語Ⅱ	演習	2	15	1後	○	
	保健体育科目	スポーツ	演習	2	15	1後	○	
	キャリア・ ガイダンス 科目	基礎セミナーⅠ	演習	2	30	1通	○	
		基礎セミナーⅡ	演習	2	30	2通	○	
		卒業研究Ⅰ	演習	2	30	3通	○	
		卒業研究Ⅱ	演習	2	30	4通	○	
	専門 教育 科目	専門共通科目	チーム医療概論Ⅰ	講義	1	15	1前	○
			チーム医療概論Ⅱ	講義	1	15	1後	○
人体の構造と機能 及び心身の発達		解剖学総論	講義	2	15	1前	○	
		解剖学	講義	2	15	1後	○	
		生理学Ⅰ	講義	2	15	1前	○	
疾病と障害の成り立ち 及び回復過程の促進		病理学	講義	1	15	2後	○	
		内科学	講義	2	15	2後	○	
		臨床神経学	講義	2	15	2前	○	
		精神医学	講義	2	15	2前	○	
		小児科学	講義	2	15	2後	○	
		リハビリテーション医学診断学	講義	1	15	2前	○	
		耳鼻咽喉科学	講義	2	15	2後	○	
		形成外科学	講義	1	15	2後	○	
		臨床歯科学(口腔外科学を含む)	講義	1	15	2後	○	
		発声発語系医学	講義	1	15	2前	○	
		神経系医学	講義	1	15	2前	○	
		聴覚系医学	講義	1	15	2前	○	
ことばとこころ の科学		発達心理学	講義	2	15	1前	○	
		臨床心理学	講義	2	15	2前	○	
		学習・認知心理学	講義	2	15	1前	○	
		心理測定法	講義	1	15	2後	○	
		言語学	講義	2	15	1後	○	
		音声学	講義	2	15	1後	○	
		音響学(聴覚心理学を含む)	講義	2	15	1後	○	
		言語発達学	講義	1	15	1後	○	
保健医療福祉と リハビリテーション の理念		リハビリテーション概論	講義	1	15	1前	○	
		保健医療論	講義	2	15	1前	○	
	社会保障制度	講義	2	15	2後	○		

言語聴覚(便覧用)(R3入学生用)

専門教育科目	言語聴覚障害学総論	言語聴覚障害概論	講義	2	15	1前	○	
		言語聴覚障害診断学	講義	2	15	1後	○	
		言語聴覚障害診断学演習	演習	1	15	2前	○	
	失語・高次脳機能障害学	失語症学	講義	2	15	2後	○	
		失語症評価学	講義	2	15	3前	○	
		高次脳機能障害学	講義	2	15	3前	○	
		失語・高次脳機能障害治療学	講義	2	15	3後	○	
	言語発達障害学	言語発達障害学	講義	2	15	2前	○	
		言語発達障害評価演習	演習	1	15	3後	○	
		小児言語聴覚教材演習	演習	1	15	3後	○	
		言語発達障害治療学	講義	2	15	3前	○	
	発声発語・嚥下障害学	器質・機能的発声発語障害学	講義	2	15	3前	○	
		運動性発声発語障害学	講義	2	15	3前	○	
		発声発語評価演習	演習	1	15	3後	○	
		摂食・嚥下障害学	講義	2	15	3前	○	
		摂食・嚥下障害評価演習	演習	1	15	3後	○	
		発声発語・嚥下障害治療学	講義	2	15	3前	○	
	聴覚障害学	聴覚障害学	講義	2	15	3前	○	
		聴覚障害治療学	講義	2	15	3後	○	
		聴覚検査法	講義	2	15	3後	○	
		補聴器・人工内耳	講義	1	15	3後	○	
	臨床実習	言語聴覚学臨床実習Ⅰ	実習	1	45	2前	○	
		言語聴覚学臨床実習Ⅱ	実習	3	45	3後	○	
		言語聴覚学臨床実習Ⅲ	実習	4	45	4前	○	
		言語聴覚学臨床実習Ⅳ	実習	4	45	4前	○	
	卒業論文	研究方法論	講義	2	15	2後	○	
		卒業論文	演習	2	30	4通	○	
	選択必修科目	言語聴覚評価特論	講義	2	15	4後	○	
		失語・高次脳機能障害特論	講義	2	15	4後	○	
		摂食・嚥下障害特論	講義	2	15	4後	○	
自由選択科目	言葉と文学	講義	2	15			○	
	暮らしと芸術	講義	2	15			○	
	心理学概論	講義	2	15			○	
	哲学概論	講義	2	15			○	
	生活文化概論	講義	2	15			○	
	暮らしと福祉	講義	2	15			○	
	暮らしと人権	講義	2	15			○	
	国際関係論	講義	2	15			○	
	経済学概論	講義	2	15			○	
	経営学入門	講義	2	15			○	
	政治学入門	講義	2	15			○	
	行政学入門	講義	2	15			○	
	現代社会学	講義	2	15			○	
	健康科学概論	講義	2	15			○	
	AIデータサイエンス入門	講義	2	15			○	

作業療法(便覧用)(R3入学生用)

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	1単当たり時間数	配当年次	必修科目	選択科目
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	心理学概論	講義	2	15	1後	○
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	15	1前	○
	人間と自然	情報処理	演習	2	15	1前	○	
		基礎統計学	講義	2	15	1後	○	
	社会の理解	発達心理学	講義	2	15	1前	○	
		教育の方法技術	講義	2	15	1後	○	
	外国語科目	英語Ⅰ	演習	2	15	1前	○	
		英語Ⅱ	演習	2	15	1後	○	
	保健体育科目	スポーツ	演習	2	15	1後	○	
	キャリア・ガイダンス科目	基礎セミナーⅠ	演習	2	30	1通	○	
		基礎セミナーⅡ	演習	2	30	2通	○	
		卒業研究Ⅰ	演習	1	30	3前	○	
		卒業研究Ⅱ	演習	1	30	3後	○	
		卒業研究Ⅲ	演習	1	30	4後	○	
専門基礎科目	専門共通科目	チーム医療概論Ⅰ	講義	1	15	1前	○	
		チーム医療概論Ⅱ	講義	1	15	1後	○	
	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学総論	講義	2	15	1前	○	
		解剖学Ⅰ(骨・筋の形態学)	講義	2	15	1前	○	
		解剖学Ⅱ(神経の形態学)	講義	2	15	1後	○	
		生理学Ⅰ	講義	2	15	1前	○	
		生理学Ⅱ	講義	2	15	1後	○	
		運動学	講義	2	15	1後	○	
		運動学演習	演習	1	30	2前	○	
		人間発達学	講義	2	15	2前	○	
		臨床心理学	講義	2	15	2前	○	
		疾病と障害の成り立ちの回復過程の促進	病理学	講義	1	15	2後	○
	内科学		講義	2	15	2後	○	
	臨床神経学		講義	2	15	2前	○	
	整形外科学		講義	2	15	2前	○	
	精神医学		講義	2	15	2前	○	
	小児科学		講義	2	15	2後	○	
	リハビリテーション医学Ⅰ		講義	2	15	2前	○	
	リハビリテーション医学Ⅱ		講義	2	15	2後	○	
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論	講義	1	15	1前	○	
保健医療論		講義	2	15	1前	○		
社会保障制度		講義	2	15	2後	○		

作業療法(便覧用)(R3入学生用)

専門教育科目	基礎作業療法学	作業療法概論	講義	2	15	1前	○	
		基礎作業療法学Ⅰ	講義	1	15	1後	○	
		基礎作業療法学Ⅱ	講義	2	15	2前	○	
	作業療法管理学	作業療法管理学	講義	2	15	3前	○	
		作業療法評価学	講義	1	15	2前	○	
	作業治療学	身体機能評価法	演習	1	30	2後	○	
		精神機能評価法	講義	1	30	2後	○	
		日常生活活動	講義	1	30	2前	○	
		作業療法評価演習Ⅰ	演習	1	30	2後	○	
		作業療法評価演習Ⅱ	演習	1	15	3後	○	
		身体障害の作業療法Ⅰ	講義	1	30	2後	○	
		身体障害の作業療法Ⅱ	講義	1	30	2後	○	
		身体障害演習	演習	1	15	3前	○	
		精神障害の作業療法	講義	1	30	3前	○	
		精神障害演習	演習	1	15	3後	○	
		発達障害の作業療法	講義	1	30	3前	○	
		発達障害演習	演習	1	15	3後	○	
		高次脳機能障害の作業療法	講義	2	15	3前	○	
		老年期障害の作業療法	講義	1	30	3前	○	
		老年期障害演習	演習	1	15	3後	○	
		作業療法特論Ⅰ	講義	2	15	4後	○	
		作業療法特論Ⅱ	講義	2	15	4後	○	
	作業療法特論Ⅲ	講義	2	15	4後	○		
	作業療法特論Ⅳ	講義	3	30	4後	○		
	作業療法特論Ⅴ	講義	3	30	4後	○		
	作業療法特論Ⅵ	講義	3	30	4後	○		
	地域作業療法学	地域作業療法	講義	2	15	3前	○	
		地域作業療法演習	演習	1	15	3後	○	
		生活環境整備学	講義	1	15	3後	○	
	臨床実習	作業療法学臨床実習Ⅰ	実習	1	45	2前	○	
		作業療法学臨床実習Ⅱ	実習	4	45	3後	○	
		作業療法学臨床実習Ⅲ	実習	9	45	4前	○	
		作業療法学臨床実習Ⅳ	実習	9	45	4前	○	
	卒業論文	研究方法論	講義	2	15	2前	○	
		卒業論文	演習	2	30	4後	○	
	自由選択科目	言葉と文学	講義	2	15			○
		くらしと芸術	講義	2	15			○
		心理学概論	講義	2	15			○
		哲学概論	講義	2	15			○
		生活文化概論	講義	2	15			○
くらしと福祉		講義	2	15			○	
くらしと人権		講義	2	15			○	
国際関係論		講義	2	15			○	
経済学概論		講義	2	15			○	
経営学入門		講義	2	15			○	
政治学入門		講義	2	15			○	
行政学入門		講義	2	15			○	
現代社会学		講義	2	15			○	
健康科学概論		講義	2	15			○	
AIデータサイエンス入門		講義	2	15			○	

理学療法(便覧用)(R3入学生用)

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	1単 位当 り時 間数	配当 年次	必修 科目	選択 科目
共通基礎科目	教養科目	人間と文化	心理学概論	講義	2	15	1後	○
		人間と社会	日本国憲法	講義	2	15	1前	○
	人間と自然	情報処理	演習	2	15	1前	○	
		基礎統計学	講義	2	15	1後	○	
	社会の理解	発達心理学	講義	2	15	1前	○	
		教育の方法技術	講義	2	15	1後	○	
	外国語科目	英語Ⅰ	演習	2	15	1前	○	
	保健体育科目	英語Ⅱ	演習	2	15	1後	○	
		スポーツ	演習	2	15	1後	○	
	キャリア・ ガイダンス 科目	基礎セミナーⅠ	演習	2	30	1通	○	
		基礎セミナーⅡ	演習	2	30	2通	○	
		卒業研究Ⅰ	演習	1	30	3前	○	
		卒業研究Ⅱ	演習	1	30	3後	○	
		卒業研究Ⅲ	演習	1	30	4後	○	
卒業研究Ⅳ		演習	1	30	4後	○		
専門共通科目	チーム医療概論Ⅰ	講義	1	15	1前	○		
	チーム医療概論Ⅱ	講義	1	15	1後	○		
専門基礎科目	人体の構造と機能 及び心身の発達	解剖学総論	講義	2	15	1前	○	
		解剖学Ⅰ(骨・筋の形態学)	講義	2	15	1前	○	
		解剖学Ⅱ(神経の形態学)	講義	2	15	1後	○	
		生理学Ⅰ	講義	2	15	1前	○	
		生理学Ⅱ	講義	2	15	1後	○	
		運動学	講義	2	15	1後	○	
		運動学演習	演習	1	30	2前	○	
		人間発達学	講義	2	15	2前	○	
		臨床心理学	講義	2	15	2前	○	
		疾病と障害の成 及び回復過程の 促進	病理学	講義	1	15	2後	○
	内科学		講義	2	15	2後	○	
	臨床神経学		講義	2	15	2前	○	
	整形外科学		講義	2	15	2前	○	
	精神医学		講義	2	15	2前	○	
小児科学	講義		2	15	2後	○		
保健医療福祉と リハビリテーション の理念	リハビリテーション医学Ⅰ	講義	2	15	2前	○		
	リハビリテーション医学Ⅱ	講義	2	15	2後	○		
	リハビリテーション概論	講義	1	15	1前	○		
	保健医療論	講義	2	15	1前	○		
	社会保障制度	講義	2	15	2後	○		

理学療法(便覧用)(R3入学生用)

専門教育科目	基礎理学療法学	理学療法概論	講義	2	15	1前	○		
		基礎理学療法学	講義	2	15	1後	○		
		基礎理学療法学演習	演習	2	15	2前	○		
	理学療法管理学	理学療法管理学	講義	2	15	2後	○		
		基礎理学療法評価学	講義	2	30	1後	○		
	理学療法評価学	神経系検査法	講義	2	15	2後	○		
		運動系検査法	演習	2	15	2前	○		
		運動・動作分析学演習	演習	1	30	2後	○		
		運動器障害理学療法学	講義	1	30	3前	○		
		運動器障害理学療法学演習	演習	1	15	3後	○		
		神経系理学療法	講義	1	30	2前	○		
		中枢神経障害理学療法学	講義	1	30	3前	○		
		中枢神経障害理学療法学演習	演習	1	15	3後	○		
		発達障害理学療法学	講義	1	30	3前	○		
		発達障害理学療法学演習	演習	1	15	3後	○		
		内部・循環障害理学療法学	講義	1	30	3前	○		
		内部・循環障害理学療法学演習	演習	1	15	3後	○		
		理学療法評価治療演習	演習	1	30	3後	○		
		物理療法学	講義	1	30	3前	○		
		物理療法学演習	演習	1	15	3後	○		
		呼吸障害理学療法学	講義	1	30	3前	○		
		呼吸障害理学療法学演習	演習	1	15	3後	○		
		日常生活活動評価学	講義	1	30	3前	○		
		日常生活活動指導法	講義	1	30	3後	○		
		義肢学・装具学	講義	1	30	3前	○		
		スポーツ障害学	講義	1	15	2後	○		
		理学療法特論Ⅰ	演習	3	30	4後	○		
		理学療法特論Ⅱ	演習	3	30	4後	○		
		理学療法特論Ⅲ	演習	3	30	4後	○		
		地域理学療法学	地域理学療法学	講義	2	15	3前	○	
			生活環境整備学	講義	1	15	3前	○	
	臨床実習	理学療法学臨床実習Ⅰ	実習	2	45	2前	○		
		理学療法学臨床実習Ⅱ	実習	3	45	3後	○		
		理学療法学臨床実習Ⅲ	実習	7	45	4前	○		
		理学療法学臨床実習Ⅳ	実習	8	45	4前	○		
	卒業論文	研究方法論	講義	2	15	2前	○		
		卒業論文	演習	2	30	4後	○		
	自由選択科目	言葉と文学	講義	2	15			○	
		くらしと芸術	講義	2	15			○	
		心理学概論	講義	2	15			○	
		哲学概論	講義	2	15			○	
		生活文化概論	講義	2	15			○	
くらしと福祉		講義	2	15			○		
くらしと人権		講義	2	15			○		
国際関係論		講義	2	15			○		
経済学概論		講義	2	15			○		
経営学入門		講義	2	15			○		
政治学入門		講義	2	15			○		
行政学入門		講義	2	15			○		
現代社会学		講義	2	15			○		
健康科学概論		講義	2	15			○		
AIデータサイエンス入門		講義	2	15			○		

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	1単位当たり時間数	配当年次	必修科目	選択科目	経済・経済分析	国際経済コース	経営戦略コース	起業・事業承継コース	金融・会計コース	メディアの利用
								コース					
共通基礎科目	人間と文化	言葉と文学	講義	2	15	1前		○					
		くらしと芸術	講義	2	15	1前		○					
		心理学概論	講義	2	15	1前		○					
		哲学概論	講義	2	15	1後		○					
		生活文化概論	講義	2	15	1前		○					
	人間と社会	日本国憲法	講義	2	15	1前	○						
		くらしと福祉	講義	2	15	1前		○					
		くらしと人権	講義	2	15	1後		○					
		国際関係論	講義	2	15	1前		○					
	人間と自然	科学史	講義	2	15	1後		○					
		情報処理 I	演習	1	30	1前	○						
		情報処理 II	演習	1	30	1後	○						
	外国語科目	基礎数学	講義	2	15	1後			○				
		英語 I	演習	1	30	1前	○						
		英語 II	演習	1	30	1後	○						
		英語 III	演習	1	30	2前	○						
		英語 IV	演習	1	30	2後	○						
		英語基礎演習 I	演習	1	30	1前		○					
		英語基礎演習 II	演習	1	30	1後		○					
		TOEIC英語 I	演習	1	30	2前		○					
		TOEIC英語 II	演習	1	30	2後		○					
		日本語 I	演習	1	30	1前		○					
		日本語 II	演習	1	30	1後		○					
		日本語 III	演習	1	30	2前		○					
		日本語 IV	演習	1	30	2後		○					
	保健体育科目	スポーツ I	実験・実習	1	30	1前	○						
		スポーツ II	実験・実習	1	30	1後	○						
	キャリア・ガイダンス科目	健康科学概論	講義	2	15	1前		○					
		キャリア・ガイダンス I	演習	2	15	1通	○						
		キャリア・ガイダンス II	演習	2	15	2通	○						
		キャリア・ガイダンス III	演習	2	15	3通	○						
	自由選択科目	キャリア・ガイダンス IV	演習	2	15	4通	○						
	AI・データサイエンス入門	講義	2	15	1前・1後		○						
専門教育科目	経済分野科目	経済学入門	講義	2	15	1前	○						
		基礎統計学	講義	2	15	2前		○					
		マクロ経済学	講義	2	15	1後	○						
		ミクロ経済学	講義	2	15	1後	○						
		計量経済学 I	講義	2	15	2後		○					
		計量経済学 II	講義	2	15	3前・4前		○					
		ゲーム理論	講義	2	15	2前		○					
		経済統計学	講義	2	15	2後		○					
		経済史 I	講義	2	15	1後		○					
		経済史 II	講義	2	15	2後		○					
		経済分析 I	講義	2	15	2後		○					
		経済分析 II	講義	2	15	3前・4前		○					
		財政学	講義	2	15	2前		○					
		経済政策論	講義	2	15	2前		○					
		公共経済学	講義	2	15	3後・4後		○					
		産業組織論	講義	2	15	2後		○					
		国際経済学	講義	2	15	2前		○					
		アジア経済論	講義	2	15	3後・4後		○					
		欧米経済論	講義	2	15	3後・4後		○					
		発展途上国論	講義	2	15	3後・4後		○					
		国際貿易・流通論	講義	2	15	3前・4前		○					
		国際機関論	講義	2	15	3後・4後		○					
		経済地理学	講義	2	15	2前		○					
		労働経済学	講義	2	15	2後		○					
		環境経済学	講義	2	15	3後・4後		○					
		農業経済学	講義	2	15	3前・4前		○					
		社会保障論	講義	2	15	2後		○					
経営学	経営学入門	講義	2	15	1前	○							
	経営戦略論	講義	2	15	2前		○						
	経営分析論	講義	2	15	3前・4前		○						
	経営情報論	講義	2	15	2後		○						

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	1単位当たり時間数	配当年次	必修科目	選択科目	経済・経済分析コース	国際経済コース	経営戦略コース	起業・事業承継コース	金融・会計コース	メディアの利用
経営分野科目	マーケティング論Ⅰ	講義	2	15	1後		○	8 単位以上	8 単位以上	経営分析論を含み	6 単位以上	16 単位以上	
	マーケティング論Ⅱ	講義	2	15	2前		○						
	流通経済論	講義	2	15	3前・4前		○						
	市場調査論	講義	2	15	3前・4前		○						
	商品企画論	講義	2	15	3後・4後		○						
	生産管理論	講義	2	15	3後・4後		○						
	人的資源管理論	講義	2	15	3後・4後		○						
	事業創造・承継論Ⅰ	講義	2	15	2後		○						
	事業創造・承継論Ⅱ	講義	2	15	3前・4前		○						
	経営組織論	講義	2	15	2後		○						
	経営管理論	講義	2	15	2後		○						
	企業統治論	講義	2	15	2後		○						
	リスクマネジメント論	講義	2	15	3後・4後		○						
	中小企業論	講義	2	15	2前		○						
	観光産業論	講義	2	15	3後・4後		○						
	地域産業論	講義	2	15	3後・4後		○						
	金融論	講義	2	15	2前		○						
	金融政策論	講義	2	15	2後		○						
	国際金融論	講義	2	15	3後・4後		○						
	ファイナンス	講義	2	15	2前		○						
	証券市場論	講義	2	15	3後・4後		○						
	銀行論	講義	2	15	3前・4前		○						
	会計学基礎	講義	2	15	2前		○						
	財務会計論	講義	2	15	2後		○						
	原価計算論	講義	2	15	2前		○						
	管理会計論	講義	2	15	3前・4前		○						
	会計監査論	講義	2	15	3後・4後		○						
	税務会計論	講義	2	15	3後・4後		○						
経営分野科目	ビジネス英語	演習	1	30	2前・3前		○	8 単位以上	8 単位以上	経営分析論を含み16 単位以上	6 単位以上	16 単位以上	
	簿記Ⅰ	講義	2	15	1前	○							
	簿記Ⅱ	講義	2	15	1後	○							
	民法	講義	2	15	2前		○						
	税法	講義	2	15	3前・4前		○						
	会社法	講義	2	15	2前		○						
	行政法	講義	2	15	2前		○						
	地方自治法	講義	2	15	2前		○						
	労働法	講義	2	15	2後		○						
	経済法	講義	2	15	2後		○						
	国際法	講義	2	15	3後・4後		○						
	現代情報法	講義	2	15	3後・4後		○						
	政治学入門	講義	2	15	1前		○						
	政治学Ⅰ	講義	2	15	1前		○						
	政治学Ⅱ	講義	2	15	2前		○						
	日本政治史	講義	2	15	2前		○						
	国際政治学	講義	2	15	2後		○						
	行政学入門	講義	2	15	1前		○						
	行政学Ⅰ	講義	2	15	1後		○						
	行政学Ⅱ	講義	2	15	2前		○						
	地方自治論	講義	2	15	2前		○						
	公務員論	講義	2	15	3後・4後		○						
	地方財政論	講義	2	15	3前・4前		○						
	ビジネス倫理	講義	2	15	3後・4後		○						
	情報と法の倫理／情報セキュリティ	講義	2	15	3前・4前		○						
	知的財産権	講義	2	15	3前・4前		○						
	NPO／NGO論	講義	2	15	3後・4後		○						
	地球環境論	講義	2	15	1後		○						
	自治体経営論	講義	2	15	3前・4前		○						
	都市・地域政策Ⅰ	講義	2	15	2後		○						
	社会政策	講義	2	15	3前・4前		○						
人権論(福祉行政と人権)	講義	2	15	2前		○							
近現代史	講義	2	15	1後		○							
社会調査論	講義	2	15	2前		○							
産業社会学	講義	2	15	1前		○							
現代社会学	講義	2	15	2後		○							

履修規程別表 政治経済学部経済経営学科(2021年入学)

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	1単位当たり時間数	配当年次	必修科目	選択科目	経済・経済分析コース	国際経済コース	経営戦略コース	起業・事業承継コース	金融・会計コース	メディアの利用
実践演習科目	社会心理学	講義	2	15	1前		○						
	国際コミュニケーション論	講義	2	15	1後		○						
	マスメディア論Ⅰ	講義	2	15	3前		○						
	キャリア研究Ⅰ	演習	2	30	1通	○							
	キャリア研究Ⅱ	演習	2	30	2通	○							
	インターンシップ	実験・実習	2	45	3通		○						
	キャリア・ボランティア実践Ⅰ	演習	2	30	1通		○						
	キャリア・ボランティア実践Ⅱ	演習	2	30	2通		○						
	卒業論文	卒業論文	演習	8	30	3通・4通	○						
							42	229					

卒業要件及び履修方法

経済経営学科の卒業に必要な単位数 124単位以上  
 必修科目 44単位  
 選択科目 80単位以上  
 ただし、  
 経済・経済分析コース  
 経済分野科目の選択科目から、「経済分析Ⅰ」「経済分析Ⅱ」を含み16単位以上、経営分野科目、関連分野科目の選択科目から、それぞれ8単位以上修得すること。  
 国際経済コース  
 経済分野科目の選択科目から、「国際経済学」「アジア経済論」を含み16単位以上、経営分野科目、関連分野科目の選択科目から、それぞれ8単位以上修得すること。  
 経営戦略コース  
 経営分野科目の選択科目から、「経営戦略論」「経営分析論」を含み16単位以上、経済関連分野科目、関連分野科目の選択科目から、それぞれ8単位以上修得すること。  
 起業・事業承継コース  
 経営分野科目の選択科目から、「事業創造・承継論Ⅰ」「事業創造・承継論Ⅱ」を含み16単位以上、経済分野科目、関連分野科目の選択科目から、それぞれ8単位以上修得すること。  
 金融・会計コース  
 経営分野科目の選択科目から、「金融論」「会計学基礎」を含み16単位以上、経済分野科目、関連分野科目の選択科目から、それぞれ8単位以上修得すること。

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	1単 位当 たり 時間 数	配当年次	必修 科目	選択 科目	政治	行政	メディア 利用
								コース	コース	
共通基礎科目	人間と文化	言葉と文学	講義	2	15	1前		○		
		くらしと芸術	講義	2	15	1前		○		
		心理学概論	講義	2	15	1前		○		
		哲学概論	講義	2	15	1後		○		
		生活文化概論	講義	2	15	1前		○		
	人間と社会	日本国憲法	講義	2	15	1前	○			
		くらしと福祉	講義	2	15	1前		○		
		くらしと人権	講義	2	15	1後		○		
		国際関係論	講義	2	15	1前		○		
	人間と自然	科学史	講義	2	15	1後		○		
		情報処理Ⅰ	演習	1	30	1前	○			
		情報処理Ⅱ	演習	1	30	1後	○			
	外国語科目	基礎数学	講義	2	15	1後		○		
		英語Ⅰ	演習	1	30	1前	○			
		英語Ⅱ	演習	1	30	1後	○			
		英語Ⅲ	演習	1	30	2前	○			
		英語Ⅳ	演習	1	30	2後	○			
		英語基礎演習Ⅰ	演習	1	30	1前		○		
		英語基礎演習Ⅱ	演習	1	30	1後		○		
		TOEIC英語Ⅰ	演習	1	30	2前		○		
		TOEIC英語Ⅱ	演習	1	30	2後		○		
		日本語Ⅰ	演習	1	30	1前		○		
		日本語Ⅱ	演習	1	30	1後		○		
		日本語Ⅲ	演習	1	30	2前		○		
		日本語Ⅳ	演習	1	30	2後		○		
	保健体育科目	スポーツⅠ	実験・実習	1	30	1前	○			
		スポーツⅡ	実験・実習	1	30	1後	○			
		健康科学概論	講義	2	15	1前		○		
	キャリア・ガイダンス科目	キャリア・ガイダンスⅠ	演習	2	15	1通	○			
		キャリア・ガイダンスⅡ	演習	2	15	2通	○			
		キャリア・ガイダンスⅢ	演習	2	15	3通	○			
		キャリア・ガイダンスⅣ	演習	2	15	4通	○			
自由選択科目	AI・データサイエンス入門	講義	2	15	1前・1後		○			
専門教育科目	政治分野科目	政治学入門	講義	2	15	1前	○			
		国家論	講義	2	15	1後	○			
		政治学Ⅰ	講義	2	15	1前		○		
		政治学Ⅱ	講義	2	15	2前		○		
		政治哲学Ⅰ	講義	2	15	3前・4前		○		
		政治哲学Ⅱ	講義	2	15	3後・4後		○		
		政治体制論	講義	2	15	2後		○		
		政治過程論	講義	2	15	2前		○		
		政党政治論	講義	2	15	2後		○		
		政治思想史Ⅰ	講義	2	15	2後		○		
		政治思想史Ⅱ	講義	2	15	3前・4前		○		
		日本政治史	講義	2	15	2前		○		
		欧米政治史	講義	2	15	3前・4前		○		
		アジア政治史	講義	2	15	3後・4後		○		
		国際政治学	講義	2	15	2後		○		
		日本の政治と外交	講義	2	15	2前		○		
		平和安全保障論	講義	2	15	3前・4前		○		
		国際機関論	講義	2	15	3後・4後		○		
		NPO/NGO論	講義	2	15	3後・4後		○		
		地球環境論	講義	2	15	1後		○		
		日本国憲法特論	講義	2	15	1後	○			
		議会法	講義	2	15	2後		○		
		国際法	講義	2	15	3後・4後		○		
		マスメディア論Ⅰ	講義	2	15	3前		○		
		マスメディア論Ⅱ	講義	2	15	3後		○		
		マスメディア論Ⅲ	講義	2	15	4前		○		
	行政分野科目	行政学入門	講義	2	15	1前	○			
		行政学Ⅰ	講義	2	15	1後		○		
		行政学Ⅱ	講義	2	15	2前		○		
		地方自治論	講義	2	15	2前	○			
		公務員論	講義	2	15	3後・4後		○		
		都市・地域政策Ⅰ	講義	2	15	2後		○		
都市・地域政策Ⅱ		講義	2	15	3前・4前		○			
自治体経営論	講義	2	15	3前・4前		○				

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	1単 位当 たり 時間 数	配当年次	必修 科目	選択 科目	政治	行政	メディアの 利用	
								コース	コース		
専門科目 専門教育科目	行政分野 科目	地方財政論	講義	2	15	3前・4前		○	8 単 位 以 上	行政 学 I、 行政 学 IIを 含 み 1 6 単 位 以 上	
		社会保障論	講義	2	15	2後		○			
		公共政策論	講義	2	15	2前		○			
		環境政策論	講義	2	15	3後・4後		○			
		社会政策	講義	2	15	3前・4前		○			
		人権論(福祉行政と人権)	講義	2	15	2前		○			
		行政法	講義	2	15	2前		○			
		地方自治法	講義	2	15	2前		○			
		民法	講義	2	15	2前		○			
		現代情報法	講義	2	15	3後・4後		○			
		現代社会学	講義	2	15	2後		○			
	関連分野 科目	経済学概論	講義	2	15	1前	○		8 単 位 以 上	8 単 位 以 上	
		経済学	講義	2	15	1後		○			
		マクロ経済学入門	講義	2	15	1後		○			
		マクロ経済学	講義	2	15	2前		○			
		ゲーム理論	講義	2	15	2前		○			
		経済史 I	講義	2	15	1後		○			
		経済政策論	講義	2	15	2前		○			
		国際経済学	講義	2	15	2前		○			
		発展途上国論	講義	2	15	3後・4後		○			
		財政学	講義	2	15	2前		○			
		経営学入門	講義	2	15	1前		○			
		マーケティング論 I	講義	2	15	1後		○			
		人的資源管理論	講義	2	15	3後・4後		○			
		事業創造・承継論 I	講義	2	15	2後		○			
		事業創造・承継論 II	講義	2	15	3前・4前		○			
		金融論	講義	2	15	2前		○			
		金融政策論	講義	2	15	2後		○			
		政策評価論	講義	2	15	2後		○			
		会計学基礎	講義	2	15	2前		○			
		リスクマネジメント論	講義	2	15	3後・4後		○			
		中小企業論	講義	2	15	2前		○			
		観光産業論	講義	2	15	3後・4後		○			
		地域産業論	講義	2	15	3後・4後		○			
		国際コミュニケーション論	講義	2	15	1後		○			
		産業社会学	講義	2	15	1前		○			
		社会心理学	講義	2	15	1前		○			
		近現代史	講義	2	15	1後		○			
		社会調査論	講義	2	15	2前		○			
		簿記 I	講義	2	15	1前		○			
		簿記 II	講義	2	15	1後		○			
		税法	講義	2	15	3前・4前		○			
		会社法	講義	2	15	2前		○			
労働法	講義	2	15	2後		○					
経済法	講義	2	15	2後		○					
ビジネス倫理	講義	2	15	3後・4後		○					
情報と法の倫理/情報セキュリティ	講義	2	15	3前・4前		○					
知的財産権	講義	2	15	3前・4前		○					
基礎統計学	講義	2	15	2前		○					
ビジネス英語	演習	1	30	2前・3前		○					
実践演習科目	キャリア研究 I	演習	2	30	1通	○		-			
	キャリア研究 II	演習	2	30	2通	○					
	インターンシップ	実験・実習	2	45	3通		○				
	キャリア・ボランティア実践 I	演習	2	30	1通		○				
	キャリア・ボランティア実践 II	演習	2	30	2通		○				
卒業論文	卒業論文	演習	8	30	3通・4通	○					
							42	191			

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	1単位当たり時間数	配当年次	必修科目	選択科目	政治コース	行政コース	メディアの利用
卒業要件及び履修方法										
<p>・政治行政学科の卒業に必要な単位数 124単位以上            必修科目 42単位            選択科目 82単位以上            ただし、            政治コース            政治分野科目の選択科目から、「政治学Ⅰ」「政治学Ⅱ」を含み16単位以上、行政分野科目、関連分野科目の選択科目から、それぞれ8単位以上修得すること。            行政コース            行政分野科目の選択科目から、「行政学Ⅰ」「行政学Ⅱ」を含み16単位以上、政治分野科目、関連分野科目の選択科目から、それぞれ8単位以上修得すること。</p>										

## 教 育 課 程 等 の 概 要

（理工学部理工学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習		
共通基礎科目	人間と文化	言葉と文学	1・2前		2		○		オムニバス	
		くらしと芸術	1・2前		2		○			
		心理学概論	1・2前		2		○			
		哲学概論	1・2後		2		○			
		生活文化概論	1・2前		2		○			
	人間と社会	経済学概論	1・2前		2		○			
		くらしと福祉	1・2後		2		○			
		くらしと人権	1・2後		2		○			
		日本国憲法	1・2前		2		○			
		教育基礎論	1・2後		2		○			
		国際関係論	1・2前		2		○			
	人間と自然	情報処理入門	1前	2				○	オムニバス	
		基礎数学	1前		2		○			
		基礎物理学	1前		2		○			
		基礎化学	1前・後		2		○			
		基礎生物学	1前・後		2		○			
	AIデータサイエンス入門	1前・後		2		○		オムニバス		
	外国語科目	英語Ⅰ	1前	1				○		
		英語Ⅱ	1後	1				○		
		英語Ⅲ	2前	1				○		
		英語Ⅳ	2後	1				○		
		英語基礎演習Ⅰ	1前		1			○		
		英語基礎演習Ⅱ	1後		1			○		
Communicative Eng.Ⅰ		1・2・3前		1			○			
Communicative Eng.Ⅱ		1・2・3後		1			○			
TOEIC英語Ⅰ		3前		1			○			
TOEIC英語Ⅱ	3後		1			○				
科体保 目育健	スポーツⅠ	1前	1				○			
	スポーツⅡ	1・2後		1			○			
	健康科学	1・2後		2		○				
デキ 科ザ 目ヤ 目イ リ ン ア	キャリアデザインⅠ	1通	2				○	共同 共同 共同 共同		
	キャリアデザインⅡ	2通	2				○			
	キャリアデザインⅢ	3通	2				○			
	キャリアデザインⅣ	4通	2				○			
小計（34科目）		—	15	41	0	—		—		
専門教育科目	共通専門教育科目	基礎数学系科目	基礎数学演習	1前		1		○		
			微分積分学基礎Ⅰ	1前	2		○			
			微分積分学基礎Ⅱ	1後	2		○			
			線形代数学基礎Ⅰ	1前	2		○			
			線形代数学基礎Ⅱ	1後	2		○			
			集合と論理	1後		2		○		
			確率と統計	2前		2		○		
			微分積分学Ⅰ	2前		2		○		
			微分積分学演習Ⅰ	2前		1		○		
			微分方程式Ⅰ	2後		2		○		

共通専門教育科目	学科共通専門科目	現代理工学序論	1前	2		○						オムニバス	
		理工学基礎セミナー I	1後	2		○							オムニバス
		理工学基礎セミナー II	2前	2		○							オムニバス
		物質科学基礎	1後		2	○							オムニバス
		数理科学概論	1後		2	○			※1 ※6				オムニバス
		情報科学概論	1後		2	○			※2 ※6				オムニバス
		プログラミング基礎	1前	2		○							
		Webプログラミング演習	1後		1		○						
		情報通信ネットワーク概論	2前		2	○			※2				
		機械工学概論	1後		2	○			※3 ※6				オムニバス
		力学 I	1後		2	○			※3 ※5				
		電気電子工学概論	1後		2	○			※4 ※6				オムニバス
		電磁気学 I	1後		2	○			※3 ※4				
		電気回路 I	1後		2	○			※4				
		熱力学と統計物理	2前		2	○			※3				
		建築学概論 I	1前		2	○			※5 ※6 ※12				オムニバス
		科学技術英語	3前		2	○							
		知的財産権	4前		2	○							
		工学倫理・研究倫理	3後		2	○			※3 ※4 ※5 ※12				共同
		情報社会と情報倫理	4前		2	○			※1 ※2				
小計 (30科目)	—	16	41	0	—		—						
専門教育科目	数理学専攻専門科目	微分積分学 II	2後		2	○			※7				
		微分積分学演習 II	2後		1		○		※7				
		線形代数学	2前		2	○			※7				
		線形代数学演習	2前		1		○		※7				
		集合と位相 I	2前		2	○			※7				
		集合と位相 II	2後		2	○							
		集合と位相演習 I	2前		1		○		※7				
		集合と位相演習 II	2後		1		○						
		代数学 I	2後		2	○			※7				
		代数学演習	2後		1		○		※7				
		代数学 II	3前		2	○			※7				
		代数学 III	3後		2	○							
		幾何学 I	2後		2	○			※7				
		幾何学演習	2後		1		○		※7				
		幾何学 II	3前		2	○			※7				
		幾何学 III	3後		2	○							
		解析学 I	3前		2	○			※7				
		解析学演習	3前		1		○		※7				
		解析学 II	3前		2	○			※7				
		解析学 III	3後		2	○							
		解析学 IV	3後		2	○							
		微分方程式 II	3後		2	○			※7				
		複素関数論	3前		2	○							
		複素関数論演習	3前		1		○						
		数理統計学	3前		2	○			※7				
		確率論	3後		2	○			※7				
		記号論理学	3後		2	○			※7				
		数値解析	3後		2	○							
離散数学	2後		2	○									
小計 (29科目)	—	0	50	0	—		—						
情報専門科学専攻	情報理論	2前		2	○			※8					
	情報数理 I	2前		2	○			※8					
	情報数理 II	2後		2	○								
	応用解析学 I	2前		2	○			※8					
	応用解析学 II	3前・2後		2	○								

情報科学専攻専門科目	暗号と符号	2後		2		○		※8		
	信号処理	2後		2		○		※8		
	データ構造とアルゴリズム	2前		2		○		※8		
	データ科学とデータ分析	2後		2		○		※8	オムニバス	
	データ科学とデータ分析演習	3前		1			○		オムニバス	
	グラフ理論	2前		2		○				
	数理計画論	3前		2		○		※8		
	データベース工学	3前		2		○		※8		
	プログラミングⅠ	2前		2		○		※8	共同	
	プログラミングⅡ	2後		2		○		※8	共同	
	プログラミング演習	3前		1			○	※8	共同	
	ソフトウェア工学	3後		2		○				
	情報セキュリティ	3前		2		○		※8		
	画像・音声情報処理	3後		2		○				
	情報通信ネットワーク	3前		2		○		※8		
	計算機アーキテクチャー	3前		2		○				
	コンピュータグラフィックス	3前		2		○				
	数理モデルと統計	3前		2		○				
	多変量解析	3前		2		○				
	最適化理論	3後		2		○				
	オペレーティングシステム	3後		2		○		※8		
	マルチメディア	3後		2		○				
	モデリングとシミュレーション科学	3後		2		○		※8	オムニバス	
	プログラミング言語論	2後		2		○				
	ヒューマンインターフェイス	3後		2		○				
	機械学習	3後		2		○				
	人工知能	3前		2		○				
	小計（32科目）		—	0	62	0	—		—	
	機械工学専攻専門科目	機構学	1前		2		○		※9	
		機械設計基礎	1後		2		○		※9	
		機械図学・製図基礎	1後		2		○		※9	
		機械設計製図	2前		2		○		※9	
		機械設計工学	3前		2		○		※9	
機械材料学		2後		2		○		※9		
材料力学		2後		2		○		※9		
材料力学演習		3前		1			○	※9		
材料強度学		3後		2		○				
力学Ⅱ		2前		2		○		※9		
機械力学Ⅰ		2前		2		○		※9		
機械力学Ⅱ		2後		2		○				
流れ学		2前		2		○		※9		
流れ学演習		2後		1			○	※9		
流体力学		3前		2		○		※9		
熱工学		2後		2		○		※9		
熱工学演習		3前		1			○	※9		
生産工学Ⅰ		3前		2		○		※9		
生産工学Ⅱ		3後		2		○				
機械工学実験・実習Ⅰ		2後		2			○	※9	共同	
機械工学実験・実習Ⅱ		3前		2			○	※9	共同	
機械計測		2前		2		○		※9		
機械制御工学		3前		2		○		※9		
伝熱工学		3後		2		○				
産業・交通機械工学特論		3後		2		○			オムニバス	
宇宙システム工学特論		3後		2		○			オムニバス	
ロボティクス基礎	3後		2		○					
小計（27科目）		—	0	51	0	—		—		

専門教育科目	電気電子工学専攻専門科目	電磁気学Ⅱ	2前		2	○		※10		
		電磁気学演習	2後		1		○	※10		
		電気回路演習Ⅰ	1後		1		○	※10		
		電気回路Ⅱ	2前		2	○		※10		
		電気回路演習Ⅱ	2後		1		○			
		電子回路	2後		2	○		※10		
		論理回路	3前		2	○				
		半導体・電子デバイス工学	3前		2	○		※10		
		半導体・電子デバイス工学演習	3後		1		○			
		電気電子計測	2後		2	○		※10		
		ネットワーク工学	3前		2	○				
		固体電子物性	2後		2	○		※10		
		発変電工学	3前		2	○		※10		
		送配電工学	3後		2	○		※10		
		設備工学	3前		2	○				
		電気電子材料学	2前		2	○		※10		
		電気法規・電気施設管理	4前		2	○		※10		
		電気エネルギー工学	3前		2	○				
		電気機器工学	3前		2	○		※10		
		パワーエレクトロニクス	3後		2	○		※10		
		電気電子制御工学	3前		2	○		※10		
		電気電子制御工学演習	3後		1		○			
		電気通信システム	3前		2	○				
		電気電子工学実習	3後		2			○	※10	共同
		電気電子工学実験Ⅰ	2前		2			○	※10	共同
		電気電子工学実験Ⅱ	3前		2			○	※10	共同
		電子回路設計	3前		2	○			※10	
		光・電波工学	2後		2	○				
		量子力学	2後		2	○				
		電波・電気通信法規	4前		2	○				
小計（30科目）		—	0	55	0	—	—			
専門教育科目	建築学専攻専門科目	建築学概論Ⅱ	1後		2	○		※11 ※12	オムニバス	
		建築構法	1後		2	○		※11 ※12		
		建築設計製図基礎Ⅰ	1前		2	○		※11 ※12		
		建築設計製図基礎Ⅱ	1後		2	○		※11 ※12		
		建築設計学	2前		2	○		※11		
		建築設計製図Ⅰ	2前		2		○	※11 ※12	共同	
		建築設計製図Ⅱ	2後		2		○	※11 ※12	共同	
		建築設計製図Ⅲ	3前		2		○	※11 ※12	共同	
		建築設計製図Ⅳ	3後		2		○	※11 ※12	共同	
		建築CAD	3後		1		○	※12	共同	
		住計画論	2前		2	○		※11 ※12		
		建築計画学Ⅰ	2前		2	○		※11 ※12		
		建築計画学Ⅱ	2後		2	○		※12		
		建築史Ⅰ	2後		2	○		※11 ※12		
		建築史Ⅱ	3前		2	○		※12		
		インテリアデザイン	2前		2	○		※12		
		建築ユニバーサルデザイン論	3後		2	○		※12		
		建築環境工学Ⅰ	2前		2	○		※11 ※12		
		建築環境工学Ⅱ	2後		2	○		※12		
		色彩デザイン論	3前		2	○		※12		
		建築設備学	3前		2	○		※11 ※12		
		建築構造力学Ⅰ	2前		2	○		※11 ※12		
		建築構造力学Ⅱ	2後		2	○		※11 ※12		
		建築構造学Ⅰ	3前		2	○		※11 ※12		
		建築構造学Ⅱ	3後		2	○		※11 ※12		

専門教育科目	建築学専攻専門科目	耐震設計法	4前	2	○		※12	
		建築材料学	2後	2	○		※11 ※12	
		建築学実験Ⅰ	3前	2			※11 ※12	共同
		建築学実験Ⅱ	3後	2			※11 ※12	共同
		建築施工	3後	2	○		※11 ※12	
		建築法規	4前	2	○		※11 ※12	
		造形デザイン	1後	2	○		※12	
		都市計画論	3前	2	○		※12	
		小計（3科目）	—	0	65	0	—	—
	科演実 目習践	理工学実践演習Ⅰ	2後	1		○		共同
		理工学実践演習Ⅱ	3前	1		○		共同
		小計（2科目）	—	2	0	0	—	—
研卒 究業	卒業研究Ⅰ	4前	3		○		共同	
	卒業研究Ⅱ	4後	3		○		共同	
	小計（2科目）	—	6	0	0	—	—	
合計（219科目）		—	39	365	0	—	—	
自由選 択科 目	政治学入門	1・2前	2	○				
	政策学概論	1・2前	2	○				
	現代社会学	1・2後	2	○				
	経営学入門	1・2前	2	○				
	教師論	1後	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	教育心理学	1後	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	教育制度論	2後	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	特別支援教育入門	1前	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	教育課程論	2前	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	道徳理論と指導法	3前	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	特別活動及び総合的な学習の時間	3前	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	教育の方法技術	2後	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	生徒・進路指導論	3前	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	教育相談	3前	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	中等教科教育法（数学Ⅰ）	1後	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	中等教科教育法（数学Ⅱ）	2前	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	中等教科教育法（数学Ⅲ）	2後	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	中等教科教育法（数学Ⅳ）	3前	2	○			教員免許取得希望者のみ	
	中等教育実習事前事後指導	4前	1		○		教員免許取得希望者のみ	
	中等教育実習	4後	4			○	教員免許取得希望者のみ	
	教職実践演習（中・高）	4後	2			○	教員免許取得希望者のみ	
	無線工学特論	4前	2	○				
日本語Ⅰ	1前	1		○		留学生のみ		
日本語Ⅱ	1後	1		○		留学生のみ		
日本語Ⅲ	2前	1		○		留学生のみ		
日本語Ⅳ	2後	1		○		留学生のみ		
卒業要件及び履修方法								
卒業要件は、以下に掲げる基準を満たし、合計128単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限：45単位/年）								
＜共通基礎科目＞								
○ 必修科目15単位を修得すること。								
○ 「人間と文化」「人間と社会」「人間と自然」の各区分からそれぞれ2単位、合計6単位、また、「外国語科目」または「保健体育科目」から2単位を含む合計8単位以上の選択科目を修得すること。								

<専門教育科目>

(数理学専攻)

- 必修科目 24 単位を修得すること。
- 選択科目は、以下のすべての基準を満たし、合計 81 単位以上修得すること。
  - 「共通専門基礎科目」  
専攻選択必修科目(※1) 11 単位、及び、他専攻概論科目(※6) 2 単位含み、合計 21 単位以上修得すること。
  - 「数理学専攻専門科目」  
専攻選択必修科目(※7) 32 単位を含み、合計 40 単位以上修得すること。
  - 「他専攻専門科目」  
「情報科学専攻専門科目」から 6 単位以上、「機械工学専攻・電気電子工学専攻・建築学専攻」の専門科目から 4 単位以上を含み、合計 20 単位を上限に修得すること。

(情報科学専攻)

- 必修科目 24 単位を修得すること。
- 選択科目は、以下のすべての基準を満たし、合計 81 単位以上修得すること。
  - 「共通専門基礎科目」  
専攻選択必修科目(※2) 6 単位、及び、他専攻概論科目(※6) 2 単位含み、合計 17 単位以上修得すること。
  - 「情報科学専攻専門科目」  
専攻選択必修科目(※8) 31 単位を含み、合計 41 単位以上修得すること。
  - 「他専攻専門科目」  
「数理学専攻専門科目」から 8 単位以上、「機械工学専攻・電気電子工学専攻・建築学専攻」の専門科目から 6 単位以上を含み、合計 23 単位を上限に修得すること。

(機械工学専攻)

- 必修科目 24 単位を修得すること。
- 選択科目は、以下のすべての基準を満たし、合計 81 単位以上修得すること。
  - 「共通専門基礎科目」  
専攻選択必修科目(※3) 10 単位、及び、他専攻概論科目(※6) 2 単位含み、合計 18 単位以上修得すること。
  - 「機械工学専攻専門科目」  
専攻選択必修科目(※9) 37 単位を含み、合計 44 単位以上修得すること。
  - 「他専攻専門科目」  
「数理学専攻・情報科学専攻」の専門科目から 10 単位以上を含み、「機械工学専攻以外の専攻専門科目」から 19 単位を上限に修得すること。

(電気電子工学専攻)

- 必修科目 24 単位を修得すること。
- 選択科目は、以下のすべての基準を満たし、合計 81 単位以上修得すること。
  - 「共通専門基礎科目」  
専攻選択必修科目(※4) 8 単位、及び、他専攻概論科目(※6) 2 単位含み、合計 14 単位以上修得すること。
  - 「電気電子工学専攻専門科目」  
専攻選択必修科目(※10) 36 単位を含み、合計 48 単位以上修得すること。
  - 「他専攻専門科目」  
「数理学専攻・情報科学専攻」の専門科目から 10 単位以上を含み、「電気電子工学専攻以外の専攻専門科目」から 19 単位を上限に修得すること。

(建築学専攻)

- 必修科目 24 単位を修得すること。
- 選択科目は、以下のすべての基準を満たし、合計 81 単位以上修得すること。
  - 「共通専門基礎科目」  
専攻選択必修科目(※5) 6 単位、及び、他専攻概論科目(※6) 2 単位含み、合計 12 単位以上修得すること。
  - 「建築学専攻専門科目」  
専攻選択必修科目(※11) 46 単位を含み、合計 56 単位以上修得すること。
  - 「他専攻専門科目」  
「数理学専攻・情報科学専攻」の専門科目から 6 単位以上を含み、「建築学専攻以外の専攻専門科目」から 13 単位を上限に修得すること。

ただし、二級・木造建築士試験、一級建築士試験の受験資格取得には指定科目(※12)を別表の通り修得すること。

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	1単位あたり時間数	配当年次	必修科目	選択科目	備考
共通基礎科目	視野形成科目	哲学入門	講義	2	15	1・2後	○		
		倫理学入門	講義	2	15	1・2前	○		
		心理学入門	講義	2	15	1後		○	
		日本人論	講義	2	15	1・2後		○	
		伝統と文化	講義	2	15	1・2前		○	
		ことばと文学	講義	2	15	1・2前		○	
		法学入門	講義	2	15	1・2後	○		
		日本国憲法	講義	2	15	1・2前		○	
		人間関係論	講義	2	15	1・2後		○	
		数学入門	講義	2	15	1・2前		○	
		物理学入門	講義	2	15	1・2後		○	
		化学入門	講義	2	15	1・2前		○	
		コンピュータ入門	演習	2	15	1・2前		○	
	統計学入門	講義	2	15	1後		○		
	外国語科目	英語Ⅰ	演習	1	30	1前		○	
		英語Ⅱ	演習	1	30	1後		○	
		英語Ⅲ	演習	1	30	2前		○	
		英語Ⅳ	演習	1	30	2後		○	
		英語演習Ⅰ	演習	1	30	3前		○	
		英語演習Ⅱ	演習	1	30	3後		○	
保健体育科目	スポーツ	実験・実習	2	30	1通		○		
キャリアデザイン科目	キャリアデザインⅠ	演習	2	30	1通		○		
	キャリアデザインⅡ	演習	2	30	2通		○		
	キャリアデザインⅢ	演習	2	30	3通		○		
	キャリアデザインⅣ	演習	2	30	4通		○		
専門教育科目	基盤科目	社会学入門Ⅰ	講義	2	15	1前	○		
		社会学入門Ⅱ	講義	2	15	1後	○		
		現代と社会	講義	2	15	1前	○		
		社会とメディア	講義	2	15	1前	○		
		社会と心理	講義	2	15	1前	○		
		社会と歴史	講義	2	15	1後	○		
		社会と文化	講義	2	15	1後	○		
		社会と環境	講義	2	15	1後	○		
		社会調査入門	講義	2	15	1前	○		
		データ分析	講義	2	15	1前		○	
		社会調査方法論	講義	2	15	1前	○		
		社会統計学	講義	2	15	1後		○	
		量的調査法	演習	1	30	1後		○	
		質的調査法	演習	1	30	1後		○	
		社会調査実習	実験・実習	2	45	2通		○	
		人文地理学概論	講義	2	15	2前	○		
		自然地理学概論	講義	2	15	2前	○		
		地誌学概論	講義	2	15	2前	○		
		日本史概論	講義	2	15	2前	○		
		外国史概論	講義	2	15	2前	○		
	政治学概論	講義	2	15	2前	○			
	経済学概論	講義	2	15	2前	○			
	人文地理学	講義	2	15	2・3後		○		
	自然地理学	講義	2	15	2・3後		○		
	地誌学	講義	2	15	2・3後		○		
	日本史	講義	2	15	2・3後		○		
	外国史	講義	2	15	2・3前		○		
	政治学	講義	2	15	2・3前		○		
	経済学原論	講義	2	15	2・3後		○		
	現代社会学分野	現代社会学概論	講義	2	15	2前	○		
		地域社会学	講義	2	15	2・3前		○	
		家族社会学	講義	2	15	2・3後		○	
		産業社会学	講義	2	15	2・3前		○	
		環境社会学	講義	2	15	2・3前		○	
		教育社会学	講義	2	15	2・3後		○	
		国際社会学	講義	2	15	2・3後		○	
		社会保障論	講義	2	15	2・3前		○	
		社会問題論	講義	2	15	2・3後		○	
		日本思想史	講義	2	15	2・3前		○	
		社会文化論	講義	2	15	2・3後		○	
大衆文化論		講義	2	15	2・3後		○		
サブカルチャー論		講義	2	15	2・3後		○		
ジェンダー論		講義	2	15	2・3後		○		
観光学概論		講義	2	15	2・3後		○		
メディア社会学分野		メディア社会学概論	講義	2	15	2前	○		
		メディア環境論	講義	2	15	2・3後		○	
		メディア文化論	講義	2	15	2・3前		○	
		メディアの法と倫理	講義	2	15	2・3後		○	
		マス・コミュニケーション論	講義	2	15	2・3前		○	
	ジャーナリズム論	講義	2	15	2・3前		○		
	活字メディア論	講義	2	15	2・3後		○		
	新聞論	講義	2	15	2・3後		○		
	広告論	講義	2	15	2・3後		○		
	インターネットコミュニケーション論	講義	2	15	2・3後		○		
マルチメディア論	講義	2	15	2・3後		○			
ネット報道論	講義	2	15	2・3前		○			
放送メディア論	講義	2	15	2・3後		○			
映像コミュニケーション論	講義	2	15	2・3前		○			
メディア制作演習	演習	2	15	2・3後		○			

科目区分		授業科目の名称	授業形態	単位数	1単位あたり時間数	配当年次	必修科目	選択科目	備考	
専門教育科目	専門科目	社会心理学分野	社会心理学概論	講義	2	15	2前	○		
			社会と個人	講義	2	15	2・3後		○	
			動機づけの心理	講義	2	15	2・3前		○	
			認知心理学	講義	2	15	2・3前		○	
			知覚心理学	講義	2	15	2・3前		○	
			生理心理学	講義	2	15	2・3前		○	
			対人関係論	講義	2	15	2・3後		○	
			コミュニケーション論	講義	2	15	2・3前		○	
			犯罪心理学	講義	2	15	2・3後		○	
			社会と集団	講義	2	15	2・3後		○	
			意思決定の心理学	講義	2	15	2・3後		○	
			行動科学	講義	2	15	2・3後		○	
			経済心理学	講義	2	15	2・3後		○	
			人間と文化	講義	2	15	2・3前		○	
			人間と音楽	講義	2	15	2・3後		○	
			宗教と社会	講義	2	15	2・3前		○	
			関連科目	グローバルイゼーション論	講義	2	15	1・2・3後		○
		日本の地域文化		講義	2	15	2・3前		○*	*いずれか1科目以上選択必修
		社会と子ども		講義	2	15	2・3前		○*	
		人間と暮らし		講義	2	15	2・3後		○	
	地域研究	講義		2	15	2・3前		○		
	資源論	講義		2	15	1・2・3前		○		
	都市と空間	講義		2	15	1・2・3後		○		
	まちと美術館	講義		2	15	1・2・3後		○		
	生涯学習概論	講義		2	15	1・2・3前		○		
	文化人類学	講義		2	15	1・2・3後		○		
	報道の現場	講義		2	15	1・2・3後		○		
	国際報道論	講義		2	15	1・2・3後		○		
	スポーツ報道論	講義		2	15	1・2・3後		○		
	オリンピック論	講義		2	15	1・2・3後		○		
	伝える文化	講義		2	15	1・2・3前		○		
	広告史	講義		2	15	1・2・3前		○		
	PR論	講義		2	15	1・2・3前		○		
	コミュニティ心理	講義	2	15	2・3前		○			
	心理測定法	講義	2	15	2・3前		○			
	心理学実験Ⅰ	実験・実習	2	45	2・3前		○			
	心理学実験Ⅱ	実験・実習	2	45	2・3後		○			
	基礎・専門演習科目	基礎演習	演習	2	30	1通		○		
		専門演習Ⅰ	演習	2	30	2通		○		
		専門演習Ⅱ	演習	2	30	3通		○		
	卒業研究	演習	4	30	4通		○			
	自由選択科目	中等教科教育法(社会)Ⅰ	講義	2	15	2前				
		中等教科教育法(社会)Ⅱ	講義	2	15	2前				
		中等教科教育法(地歴)	講義	2	15	2後				
		中等教科教育法(公民)	講義	2	15	2後				
		教育学概論	講義	2	15	2前				
		教育基礎論	講義	2	15	2前				
教師論		講義	2	15	2前					
教育心理学		講義	2	15	2後					
教育制度論		講義	2	15	3前					
教育課程論		講義	2	15	2後					
特別支援教育		講義	1	15	4前					
道徳理論と指導法		講義	2	15	4前					
特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		講義	2	15	3前					
教育の方法技術		講義	2	15	3後					
生徒・進路指導論		講義	2	15	4前					
教育相談		講義	2	15	2後					
学級経営		講義	2	15	2前					
中等教育実習事前事後指導		演習	1	30	4前					
中等教育実習Ⅰ		実験・実習	2	45	4後					
中等教育実習Ⅱ		実験・実習	2	45	4後					
教職実践演習(中・高)		演習	2	30	4後					
学校経営と学校図書館		講義	2	15	4前					
学校図書館メディアの構成		講義	2	15	4前					
学習指導と学校図書館		講義	2	15	4前					
読書と豊かな人間性		講義	2	15	3後					
情報メディアの活用		講義	2	15	3後					
図書館概論		講義	2	15	3前					
図書館情報技術論		講義	2	15	3前					
図書館制度・経営論		講義	2	15	3前					
図書館サービス概論		講義	2	15	3後					
情報サービス論		講義	2	15	3後					
児童サービス論		講義	2	15	3後					
情報サービス演習		演習	2	15	3後					
図書館情報資源概論		講義	2	15	3前					
情報資源組織論		講義	2	15	3後					
情報資源組織演習		演習	2	30	3後					
図書・図書館史		講義	1	15	4前					
図書館施設論		講義	1	15	4後					
博物館概論		講義	2	15	3前					
博物館経営論		講義	2	15	3前					
博物館資料論		講義	2	15	3後					
博物館資料保存論		講義	2	15	3後					
博物館展示論		講義	2	15	4前					
博物館教育論		講義	2	15	4前					
博物館情報・メディア論		講義	2	15	4後					
博物館実習		実験・実習	3	45	4通					
AI・データサイエンス入門		講義	2	15	1前・後					

科目区分	授業科目の名称	授業形態	単位数	1単位あたり時間数	配当年次	必修科目	選択科目	備考
<p>以下に掲げる基準を見たとし、合計124単位以上修得することを卒業要件とする。</p> <p>&lt;共通基礎科目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目20単位を修得すること。</li> <li>・合計28単位以上修得すること。</li> </ul> <p>&lt;専門教育科目&gt;</p> <p>(基盤科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目34単位を修得すること。</li> <li>・合計38単位以上修得すること。</li> </ul> <p>(専門科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目6単位を修得すること。</li> <li>・所属コースの専門分野の選択科目から20単位以上修得すること。</li> <li>・合計38単位以上修得すること。</li> </ul> <p>(関連科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必修科目2単位を修得すること。</li> <li>・選択必修科目1科目2単位を修得すること。</li> <li>・合計10単位以上修得すること。</li> </ul> <p>(基礎・専門演習科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6単位修得すること。</li> </ul> <p>(卒業研究)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4単位修得すること。</li> </ul> <p>※ 履修科目の登録の上限は、年間45単位を上限とする。 ただし、免許・資格取得のために自由選択科目を履修する場合はこの限りでない。</p>								

## 大和大学情報教育委員会規程（2022年4月1日施行）

### （設置）

第1条 大和大学学則第12条第3項および大和大学教授会規程に基づき、大和大学の専門委員会として、情報教育委員会（以下「委員会」という。）を置く。

### （目的）

第2条 委員会は、本学における情報教育の推進を目的とする。

### （審議事項）

第3条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 情報教育の授業科目の設計に関すること。
- (2) 情報教育の授業科目の自己点検・評価に関すること。
- (3) 情報教育の方法等の調査・検討に関すること。
- (4) 情報教育にかかる人材育成の推進に関すること。

### （組織）

第4条 委員会は、次の各号に掲げる者（以下「委員」という。）をもって組織する。

- (1) 委員長
- (2) 副委員長
- (3) その他、委員長が指名した者

### （委員の委嘱及び任期）

第5条 前項の委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。

2 前項の委員が欠員となったときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

### （委員長等）

第6条 委員長及び副委員長は、学長が指名する。

### （会議の招集及び議長）

第7条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員長の指名により、副委員長またはその他の委員が議長を代行することができる。

### （定足数及び議決数）

第8条 委員会は、委員（出張を命じられた者を除く。）の過半数の出席がなければ、議事を

開くことができない。

2 議決を要する事項については、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第9条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、意見を述べさせることができる。

(事務の処理)

第10条 委員会に関する事務は、教務情報室において処理する。

(細則)

第11条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(改廃)

第12条 この規程の改廃は、大学協議会の議を経て行う。

附 則

1 この規程は、2022年4月1日から施行する。

## 大和大学情報教育委員会規程（2022年4月1日施行）

### （設置）

第1条 大和大学学則第12条第3項および大和大学教授会規程に基づき、大和大学の専門委員会として、情報教育委員会（以下「委員会」という。）を置く。

### （目的）

第2条 委員会は、本学における情報教育の推進を目的とする。

### （審議事項）

第3条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 情報教育の授業科目の設計に関すること。
- (2) 情報教育の授業科目の自己点検・評価に関すること。
- (3) 情報教育の方法等の調査・検討に関すること。
- (4) 情報教育にかかる人材育成の推進に関すること。

### （組織）

第4条 委員会は、次の各号に掲げる者（以下「委員」という。）をもって組織する。

- (1) 委員長
- (2) 副委員長
- (3) その他、委員長が指名した者

### （委員の委嘱及び任期）

第5条 前項の委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。

2 前項の委員が欠員となったときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

### （委員長等）

第6条 委員長及び副委員長は、学長が指名する。

### （会議の招集及び議長）

第7条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員長の指名により、副委員長またはその他の委員が議長を代行することができる。

### （定足数及び議決数）

第8条 委員会は、委員（出張を命じられた者を除く。）の過半数の出席がなければ、議事を

開くことができない。

2 議決を要する事項については、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第9条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を委員会に出席させ、意見を述べさせることができる。

(事務の処理)

第10条 委員会に関する事務は、教務情報室において処理する。

(細則)

第11条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

(改廃)

第12条 この規程の改廃は、大学協議会の議を経て行う。

附 則

1 この規程は、2022年4月1日から施行する。

本教育プログラムを通じて身につけることができる能力

- データを扱う基本統計量、データを説明する回帰や相関関係などの内容を通してデータリテラシーを修得する。
- データの活用時に倫理・法律・社会的な留意事項や情報セキュリティ等を考慮する重要性を理解する。
- 様々な活用事例を用い、AIを利活用するための素養を身につける。

## 実施体制

委員会等	役割
大和大学情報教育委員会委員長	運営責任者
大和大学情報教育委員会	プログラムの改善・進化 プログラムの自己点検・評価

## 開設される授業科目

学部	授業科目	単位数
教育学部	情報処理	2
	AIデータサイエンス入門	2
保健医療学部	情報処理	2
	AIデータサイエンス入門	2
政治経済学部	情報処理 I	1
	AIデータサイエンス入門	2
理工学部	情報処理入門	2
	AIデータサイエンス入門	2
社会学部	コンピュータ入門	2
	AIデータサイエンス入門	2

## 「AIデータサイエンス入門」必修化に向けた取り組み

大和大学では、令和5年度を目処に本プログラムを構成する科目「AIデータサイエンス入門」を必修化することにより、既に必修である「情報処理」関連の科目と併せて本プログラムをすべての学生が受講する体制を整える計画である。

計画概要を下図に示す。

